

平成30年度
松本市行政評価市民委員会
市民評価資料

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

【目次】

1	平成30年度 松本市行政評価市民委員会 班別名簿	P . 1
2	松本市行政評価市民委員会の進め方	P . 2
3	基本施策、事務事業評価一覧表、評価票の見方	P . 3
4	班別評価対象事務事業一覧表	P . 6
5	事務事業一覧表及び事務事業評価票	P . 12

松本市行政評価市民委員会の進め方

【第2回松本市行政評価市民委員会】

1. 当日の流れ

- (1) 日時 7月1日(日) 9:30～11:15
- (2) 場所 A班 大会議室
B班 第一応接室
C班 第二応接室

(3) タイムテーブル

時間	内容
9:30～	開会(挨拶、進め方等の説明)
9:35～	ファシリテーター挨拶
9:40～	各班にて施策評価(1施策25分程度)
	基本施策×3 途中休憩 10分程度
11:05～	事務連絡
11:15	解散(各班ごと)

2. 班別施策評価の流れ

- (1) 事務局より、基本施策及び事務事業説明
(2) 施策評価開始

【第3回松本市行政評価市民委員会】

1. 当日の流れ

- (1) 日時 7月28日(土) 9:30～12:00
- (2) 場所 松本市勤労者福祉センター
全体会 2-5
A班 2-5
B班 2-4
C班 2-3

(3) タイムテーブル

時間	内容
9:30～	ファシリテーター挨拶
9:35～	各班にて施策評価(1施策25分程度)
	基本施策×4 途中休憩 10分程度
	途中休憩 10分程度
11:25～	会場移動、休憩
11:30～	全体会議(内容共有、事務連絡)
12:00	解散

2. 班別施策評価の流れ

- (1) 事務局より、基本施策及び事務事業説明
(2) 施策評価開始

基本施策の見方

基本施策 2-1-2

一人ひとりが輝き大切にされるまち

人権尊重の推進

人権、男女共同参画に対する意識啓発を進め、個人が持つ年齢、性別、環境などの個性や属性を互いに認め合う社会をめざします

○施策の成果目標

指標	現状	計画目標 (H32)	備考
基本的な人権が尊重された市政が運営されていると思う市民の割合	-	70.0%	

○現状と課題

人権問題は、地域内、企業内、家庭内などの狭い範囲で発生しやすく、表面化しにくい問題です。また、高齢者、障害者、子どもへの虐待問題のほか、インターネット上での人権を軽視する行為が問題となっています。人権問題を早期発見できる体制の強化が課題です。

また、男性と女性が対等の立場で、共に充実した生活を送ることができる社会を実現するために、女性が活躍できる環境づくりが課題です。

○現状を示すデータ

過去1年間に家庭内で差別問題や人権問題について話しあったと答えた市民の割合	31.5%	(H23)
社会全体で男女の地位は平等と答えた市民の割合	18.9%	(H23)

○施策展開の方針

- 講演会、学習会の開催により、市民の人権意識の高揚を図るとともに、人権問題の早期発見のため、地域や関係機関と連携した体制を強化します。
- インターネット利用者の増加に伴い、モラルやマナーについての啓発を推進します。
- 男女共同参画^{※1}の実現に向け、子育て支援、就労支援等と連携して、ワーク・ライフ・バランス^{※2}の浸透を図ります。

○進捗管理指標

指標	現状	計画目標 (H32)	備考
各地区での人権学習イベント等参加者数 (全35地区計)	16,742人	18,000人	
男女共同参画地区推進委員の設置	-	全35地区	

評価していただく基本施策については、班別評価対象事務事業一覧表にまとめてあります。施策の目的と目標、現状と課題、展開の方針をご覧ください。事務事業一覧表の各事務事業、事務事業評価票に記載されている現状に対する認識が正確に把握され、指標の推進に向かっているか等のご意見をお願いいたします。

7月1日 A班

班別評価対象事務事業一覧表

基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
2-1-2 (人権尊重の推進) 冊子P37	人権、男女共同性や属性を互に 施策の目的と目標を記載しております。	男女共同参画推進事業 (地方創生分含む)	人権・男女共生課
	現状と課題 人権問題は、地域内、企業内、家庭内などの狭い範囲で発生しやすく、表面化しにくい問題である。また、高齢者、障害者、子どもへの虐待問題となっている。 現状と課題を記載しております。 人権問題を早期発見できる体制の強化が課題。 男性と女性が対等の立場で、共に充実した生活を送ることができる社会を実現するために、女性が活躍できる環境づくりが課題		
基本施策	施策の目的と目標	抽出	担当課
6-3-1 (文化芸術活動の推進) 冊子P137	誰もが多様な文化芸術に気軽に触れることができる環境をつくり、市民が文化芸術活動に親しみ、市民の創造性が育まれるまちをめざします	ま 美術館事業	振興課
	現状と課題 音楽・芸術の「楽都」として発展しており、文化芸術活動の場や地域資源に恵まれ、OMF、信州・まつもと大歌舞伎等優れた文化芸術に触れる機会が多く、文化ボランティア活動が盛んであるを生かし、文化芸術を市民の日常に浸透させ、市民自らの活動に繋げていくことが課題		
基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
6-3-2 (スポーツの振興) 冊子P139	青少年の健全育成、地域社会の再生、心身の健康の保全増進、社会・経済の活力創造など多面にわたる効用を持つスポーツの振興をめざします	スポーツ振興事業 市民生涯スポーツ振興事業	スポーツ推進課
	現状と課題 スポーツは心身の健康の保持増進にとどまらず、社会・経済の活力創造など多面にわたる効用をもっている。 市民が競技・生涯スポーツなど「するスポーツ」に気軽に取り組める環境整備に加え、プロスポーツなどを応援・観戦する「みるスポーツ」、少年団の指導や大会ボランティアなど「支えるスポーツ」に市民が親しめる環境づくりが課題		

冊子のページを記載しております

基本施策の中から抽出した、具体事務事業、担当課を記載しております。

行政評価 事務事業一覧表の見方

(例)

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	2-1-2 人権尊重の推進	市民満足度調査結果 市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	平均値 2.63	回答保留 30.1%
------	------------------	--------------------------------------	-------------	---------------

事業名 主な事業	総合評価	成果指標	基本施策を構成する事業のすべてを一覧表に記載します。個別の評価票から、総合評価、指標、達成度、	認識	担当課	①事業費 (単位:円)	②人件費 (単位:円)	コスト合計 ①+② (単位:円)	
男女共同参画推進事業 ・松本市男女共同参画推進委員会の実施 ・男女共同参画・人権に関する意識調査の実施 ・長野県19市男女共同参画行政事務研究会への参加	A	男女共同参画地区委員の設置 松本市の附属機関における女性委員の比率	102.1%	然として男性の参加が少ないが、平成23年度に実施した調査と比較すると微増しており、少しずつではあるが変化が表れている。審議会における女性委員の割合については増減を繰り返しながらも微増の傾向が続いている。	における家事の分担については依	人権・男女共生課	56	6,027	6,083
男女共同参画推進事業 (地方創生) ・事業主向けセミナーの開催 ・企業訪問 ・従業員へのカウンセリング等	A	両立支援プログラム策定企業数	95.0%	企業側は、ワークライフバランス重要性は理解しているものの、企業にとってのメリットがより明確にならないと積極的な取組みに移らないため、好事例の集積に努める必要がある。		人権・男女共生課	5,440	3,036	8,476
女性センター事業 ・意識啓発事業 ・相談事業 ・人材育成事業		男女共同参画地区推進委 における	100.0% 98.0%	・利用者数が減少傾向であり、女性センターの更なるPRが必要。 ・女性団体の高齢化、会員の減少が進んでおり、新たな団体との連携を模索する必要がある。		人権・男女共生課	4,214	8,384	12,598
補助金(人権男女共生課) ・部落解放・人権政策確立要求松本市実行委員	A	全国・県等研修会等への参加	100%	1965年の「同和对策審議会答申」を受けて始まった同和問題の根本的な解決をはじめ、市民の立場から人権意識の普及をしてきた。2016年12月新たに「部落差別の解消の推進に関する法律」が制定され、一層の意識啓発の推進強化が必要である。		人権・男女共生課	100	0	100
トライあい・松本管理 ・トライあい・松本、第三地区公民館及び第三地	A	トライあい・松本利用者数	91.0%	利用者の減少と高齢化が課題であり、利用者増に向け取り組む		人権・男女共生課	6,443	4,481	10,924
トライあい・松本事業 ・各種講座企画・運営	A	開催講座数 受講者数		指標設定にそぐわない事業については空欄となっております。指標設定がないため、総合評価も空欄となります。開する必要がある		人権・男女共生課	1,183	5,999	7,182
人権教育推進事業 ・学校人権教育研究協議会等の参加 ・学校人権教育担当指導主事研修の参加 ・全国人権同和教育研究大会の参加				人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようとする意欲と実践力をもった人間を育てるため、人権課題に即した教職員の研修や各学校への周知に努めたい。	学校指導課	154	1,000	1,154	

基本施策を構成する事業から抽出した事業は網掛けをします。

指標設定にそぐわない事業については空欄となっております。指標設定がないため、総合評価も空欄となります。開する必要がある

事務事業評価票の見方

(例)

事務事業評価票

事務事業名	男女共同参画推進事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	男女共同参画推進費

部局名	総務部	課名	人権・男女共生課	課CD	01370000
-----	-----	----	----------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

1

事業計画年度 ~

学識経験者や関係団体の代表から成る付属機関の運営、市民対象の意識調査、県内他市と合同での研究・情報交換を行い、本市の男女共同参画を推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

2

- 松本市男女共同参画推進委員会
学識経験者・関係団体代表からなる付属組織「松本市男女共同参画推進委員会」を開催し、男女共同参画計画の策定、施策推進に外部の意見を反映させる。
・実施回数 3回
- 男女共同参画・人権に関する意識調査
松本市民の男女共同参画に対する意識動向等を把握し、男女共同参画計画や諸施策に反映させるため、意識調査を定期的を実施するもの
・5年に1回実施(直近は平成28年度)
- 長野県19市男女共同参画行政事務研究会
県内各市の取組状況、共通課題への対応、事例研究等の情報交換を行い
本市の男女共同参画の施策に反映させる。
・実施回数 1回(会場は19市輪番制)
- 男女共同参画推進委員等研修会
当該委員ほか一般市民も含め男女共同参画に対する見識を深めるため講師を招いて研修を行う。

<現状に対する認識>

4

平成28年度の意識調査では、家庭における家事の分担については依然として男性の参加が少ないが、平成23年度に実施した調査と比較すると微増しており、少しづつではあるが変化が表れている。
審議会における女性委員の割合については増減を繰り返しながらも微増の傾向が続いている。

<指標の達成状況>

3

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	男女共同参画地区協議会委員の設置				
指標の設定理由	地域における男女共同参画を推進する指標とするため				
目標値	35		35	35	35
実績値	35				
達成度					
② 成果指標(指標名)	松本市男女共同参画推進委員の設置				
指標の設定理由	松本市民の男女共同参画に対する意識動向等を把握し、男女共同参画計画や諸施策に反映させるため、意識調査を定期的を実施するもの				
目標値					
実績値					
達成度					

総合評価基準(%数値は成果指標の達成度)

- A: 順調(80%以上)
 - B: おおむね順調(60~79%)
 - C: 改善が必要(40~59%)
 - D: 大幅な事業改善が必要(20~39%)
 - E: 目標達成困難(20%未満)
- ※事業の中には目標値を達成していても、B評価とし、更なる目標設定を行う。

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,411	56			

- ①事業の狙い、②内容・実績、③達成状況からの総合評価に着目
- 指標の進捗状況がH32年度の目標の達成に向かっているか
- 進捗状況等に対し、④現状に対する認識が正確に把握され、指標の推進に向かっているか等のご意見をお願いいたします。

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
合計コスト①+②	7,794	6,128			
前年度比	—	78.6%			

7月1日 A班

班別評価対象事務事業一覧表

基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
2-1-2 (人権尊重の推進) 冊子P37	人権、男女共同参画に対する意識啓発を進め、個人が持つ年齢、性別、環境などの個性や属性を互いに認めあう社会をめざします	男女共同参画推進事業 (地方創生分含む) 人権教育推進事業 (小学校・中学校)	人権・男女共生課 学校指導課
	現状と課題		
	・人権問題は、地域内、企業内、家庭内などの狭い範囲で発生しやすく、表面化しにくい問題である。 ・また、高齢者、障害者、子どもへの虐待問題のほか、インターネット上での人権を軽視する行為が問題となっている。 ・人権問題を早期発見できる体制の強化が課題 ・男性と女性が対等の立場で、共に充実した生活を送ることができる社会を実現するために、女性が活躍できる環境づくりが課題		
基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
6-3-1 (文化芸術活動の推進) 冊子P137	誰もが多様な文化芸術に気軽に触れることができる環境をつくり、市民が文化芸術活動に親しみ、市民の創造性が育まれるまちをめざします	文化振興推進事業 まつもと市民芸術館事業 美術館事業	文化振興課 文化振興課 美術館
	現状と課題		
	・音楽・芸術の「楽都」として発展しており、文化芸術活動の場や地域資源に恵まれ、OMF、信州・まつもと大歌舞伎等優れた文化芸術に触れる機会が多く、文化ボランティア活動が盛んである。 ・こうした資源を生かし、文化芸術を市民の日常に浸透させ、市民自らの活動に繋げていくことが課題		
基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
6-3-2 (スポーツの振興) 冊子P139	青少年の健全育成、地域社会の再生、心身の健康の保全増進、社会・経済の活力創造など多面にわたる効用を持つスポーツの振興をめざします	スポーツ振興事業 市民生涯スポーツ振興事業	スポーツ推進課
	現状と課題		
	・スポーツは心身の健康の保持増進にとどまらず、社会・経済の活力創造など多面にわたる効用をもっている。 ・市民が競技・生涯スポーツなど「するスポーツ」に気軽に取り組める環境整備に加え、プロスポーツなどを応援・観戦する「みるスポーツ」、少年団の指導や大会ボランティアなど「支えるスポーツ」に市民が親しめる環境づくりが課題		

7月1日 B班

班別評価対象事務事業一覧表

基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
2-3-2 (出産・子育て環境の充実) 冊子P49	安心して妊娠、出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざします	学習支援・交流等 スペース設置運営事業 こんにちは赤ちゃん事業	こども育成課 こども福祉課
	現状と課題 ・核家族化や共働き世帯の増加、妊婦の高齢化などにより、子育て家庭の半数以上の方が妊娠、出産、子育てに悩みや不安、負担を感じている。 ・母親や家族の負担軽減、相談体制の充実などを通して、子育てを地域・社会で支える環境づくりを進めることが課題		
基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
4-1-2 (3Rの推進) 冊子P85	「もったいない」をキーワードとした3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進し、更なるごみの減量をめざします	ごみ減量対策事業 環境基本計画推進事業	環境政策課
	現状と課題 ・ごみの年間排出量は、平成17年度をピークに減少傾向にある。 ・しかしながら、事業系のごみについては、家庭系ごみに比べ、減少率が低い状況 ・特に事業系ごみの減量に取り組むことが課題		
基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
4-3-1 (水・大気などの環境保全の推進) 冊子P95	市民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、水質汚濁、大気汚染などの少ない、快適な生活環境の向上をめざします	地下水対策事業	環境保全課
	現状と課題 ・法令に基づく事業者への立入調査などを行ってきたこともあり、良好な水・大気環境が保たれ、騒音などによる公害苦情件数も減少傾向にある。 ・この快適な生活環境を維持していくことが課題		

7月1日 C班

班別評価対象事務事業一覧表

基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
5-1-2 (中心市街地の賑わいの創出) 冊子P105	地域資源を生かしてまちの魅力を高め、多くの人が住み、働き、訪れ、憩う、賑わいのある中心市街地をめざします	こだわりのある商店街づくり事業	商工課
	<p>現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費行動の変化などにより、産業・商業・居住。娯楽の郊外化が進み、中心市街地は人口や来街者の減少が進んでいる。 事業者自身の意識の向上や商業機能の再編、交通アクセスの向上などにより、多様なニーズに対応し、居住人口や来街者数を増やす事が課題 大型商業施設と既存中心市街地の商店との共存も新たな課題 		
5-2-2 (商業の振興) 冊子P115	店舗や商店街の個性、魅力づくりをすすめ、時代の変革や消費者ニーズに対応した「商都・松本」にふさわしい、にぎわいのある商業形態をめざします	商業振興事業	商工課
	<p>現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営者の高齢化・後継者不足や郊外型大型店の出店、インターネット販売の普及などにより悪化し、商店街を支えてきた小売店数が減少してきている。 多くの来街者や観光客が訪れる魅力ある商店街づくりと、店舗の経営基盤の強化に取り組んでいくことが課題 		
5-3-2 (健康産業の創出) 冊子P121	市民や産学官の共創により、健康・医療を切り口とする産業を創出して地域経済の好循環をもたらす「松本ヘルスバレー」の構築をめざします	健康寿命延伸新需要創造事業 健康産業市民協働推進事業 健康産業関連商品普及促進事業	健康産業・ 企業立地課
	<p>現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 超少子高齢型人口減少社会における、新たな分野の成長産業の創出に向け、「松本地域健康産業推進協議会」、「松本ヘルス・ラボ」を設立し、市民の健康増進を産業面で支えるモデル構築の具体化を進めている。 この取組みを、企業誘致や地場産業の発展、地域経済の好循環に繋げていくことが課題 		

7月28日 A班

班別評価対象事務事業一覧表

基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
1-1-2 (心の健康づくりの推進) 冊子P25	心の健康を維持し、住み慣れた地域でいきいきと過ごすことができる環境をめざします	自殺予防対策事業	健康づくり課
	現状と課題 ・貧困、病気、仕事など、現代社会は悩みやストレスを抱える人が増えていますが、核家族化や単世帯の増加などにより、身近な家庭等からの支援が期待できない現状である。 ・また、本市の自殺者の傾向として、特に若い世代や働く世代が多い状況である。 ・地域社会の中で、不安やストレス等の悩みを抱えた方を孤立させない環境づくりが課題		
1-2-1 (地域医療の充実) 冊子P29	日常生活圏において、必要な時に必要な医療サービスを受けることができるよう地域に密着した医療の充実をめざします	松本市立病院 松本市立病院訪問看護事業 会田病院事業	市立病院 事務部 会田病院
	現状と課題 ・松本市は病院、診療所、医師など比較医療資源に恵まれており、地域において質、量ともに充実した医療が提供されている。 ・今後も超高齢社会に対応し、地域における効率かつ効果的な医療体制の維持には、医療機関が機能分化と連携を図るほか、市民理解の醸成が課題 ・また、地域医療の基幹的な役割を担う市立の病院、医療資源の少ない地域を担う市立の診療所については持続的な地域医療の提供が課題		
1-2-2 (救急医療の充実) 冊子P31	夜間・休日などの緊急時の救急医療及び妊娠中や出産後の母子が安心して受診できる周産期医療の充実をめざします	初期救急医療事業 災害医療事業 松本地域出産・子育て安心ネットワーク事業 夜間急病センター事業	医務課
	現状と課題 ・松本医療圏では、在宅当番医制や小児科・内科夜間急病センター、病院群輪番制及び救命救急センターによる救急医療体制が確立されているが、医療従事者の負担軽減や、一層の病診・病病連携が課題 ・また、周産期医療体制については、松本地域出産・子育て安心ネットワーク事業の取組により、市民が安全・安心に出産・子育てができる体制を維持・継続することが課題		
2-2-2 (障害者(児)福祉の充実) 冊子P43	障害による生活への不安を解消し、障害者(児)とその家族が地域で安心して暮らすことができる社会をめざします	障害者地域生活支援事業 障害者虐待防止事業	障害福祉課
	現状と課題 ・障害者(児)数は年々増加しており、また、社会環境の変化とともに、障害者(児)が抱える生活課題や支援ニーズも多様化・複雑化している。 ・施設入所者の地域生活への移行も進んでいるが、障害があっても住み慣れた地域で安心して生活ができるように、さらなるサービスの充実を図ることが課題 ・また、発達障害が不登校やひきこもり、虐待などの一因となっている場合もあるため、発達障害に対する理解促進や早期対応・早期療育が課題		

7月28日 B班

班別評価対象事務事業一覧表

基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
3-2-2 (防災・減災対策の推進) 冊子P67	市民生活の安全が確保できるよう、災害の発生を未然に防ぎ、災害を最小限にいとめる防災・減災対策の充実をめざします	～雨水対策関連事業～ ・単独河川改良事業 ・単独水路改修事業 ・単独雨水渠新設改良事業 ・雨水渠改良事業 狭あい道路対策事業 建築物耐震補強促進事業	建設課 建築指導課
	現状と課題 ・「災害危険度判定調査」では、総合災害危険度が高い街区が多数ある。糸魚川・静岡構造線断層帯の地震発生率は非常に高く、建築物の安全性及び避難路の確保、公園等を活用した防災機能の向上が課題 ・また、近年多発するゲリラ豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加などへの対応が課題		
3-3-2 (道路整備の推進) 冊子P71	社会情勢の変化と地域特性に配慮し、総合的に機能する道路網整備と、市民生活に密着した生活道路の整備を行い、ゆとりを持って移動できる快適で人にやさしい道路環境をめざします	～道路整備関連事業～ ・道路改良事業(社会資本) ・道路改良事業(防災安全) ・単独新設改良事業 ・リフレッシュロード事業	建設課 維持課
	現状と課題 ・本市の道路網は中心市街地から郊外へ広がる放射型を構成しており、中心市街地とその周辺へ自動車交通が集中する現状にある。 ・また、地形的な制約もあり、主要都市間道路ネットワーク整備が不十分である。 ・さらに、身近な生活道路については、快適性、安全性の観点から依然として整備要望が多く、より円滑な交通流動を確保し、将来世代につなぐ総合的な道路整備が課題		
4-2-2 (花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進) 冊子P91	公園・緑地の整備や、花いっぱい運動など市民の主体的な活動を支援し、花と緑で、市民や松本を訪れる方が心地良いと感じるやすらぎのまちをめざします	緑対策 ～公園関連事業～ ・単独アルプス公園整備事業 ・公園施設長寿命化事業 ・単独公園整備事業	公園緑地課
	現状と課題 ・松本市は自然豊かなイメージがあり、また、花いっぱい運動発祥の地として、市民、各種団体との協働でまちの緑化を進めてきた。 ・しかしながら、まちなかの緑は少ないと感じられており、近年では保存樹も失われつつある。 ・人々が憩える心地よい公共空間を確保するとともに、花と緑との関わりをとおして、命を大切にすることを育むことが課題		
4-3-2 (景観維持・保全の推進) 冊子P97	周辺環境と調和した地域性に富んだ多様な眺めを守り、創り、育てることにより、地域に誇りと愛着が持てる魅力ある景観の備わったまちをめざします	都市計画策定事業(空き家対策) ～景観形成事業～ ・屋外広告物条例の推進 ・景観計画の推進 ・公共案内サイン整備事業	都市政策課
	現状と課題 ・松本城を中心とした景観をはじめ、本市の美しい特徴ある景観は市民の誇りであり、魅力であるが、景観意識の低下により周辺のまちなみに調和しない高さの建物が見られるなど、まちの美しさや眺望が阻害されることがある。 ・また、人口減少や居住者の高齢化もあり、歴史的な建造物を取り壊され、空き家も増加するなど、特徴あるまちなみが失われつつある。 ・景観意識の向上や歴史的建造物の保全活用が課題		

7月28日 C班

班別評価対象事務事業一覧表

基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
6-1-2 (学校環境の整備・充実) 冊子P129	子どもたちがよりよい環境のなかで学校生活を送れるよう、安全・安心で充実した教育環境をめざします	地震防災緊急事業 (小学校・中学校) 学校施設長寿命化改良事業	学校教育課
	現状と課題 ・学校施設の耐震補強は完了しましたが、昭和40年代から50年代にかけて多く建築された学校施設の老朽化が進んでいる。 ・多様化する教育内容に対応し、子どもたちがよりよい環境の中で充実した教育が受けられるよう、計画的に学校環境の整備・充実を進めることが課題		
基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
6-2-2 (社会教育環境の整備) 冊子P135	市民が身近な地域で学び、考え、楽しみ、行動する、生きがいつくりの拠点となる、利用者の視点に立った社会教育施設の運営をめざします	地区公民館大規模改修事業	生涯学習課
	現状と課題 ・本市では、充実した社会教育施設をバランスよく配備し、身近な地域での市民の学びを支援してきた。 ・今後、これら施設の効果的な長寿命化を図るとともに、他の公共施設を含めて有効活用していくことが課題		
基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
6-4-1 (歴史・文化資産保護・活用の推進) 冊子P141	文化財の保存・活用を通じ、市民が地域の歴史・文化資産に親しみ、価値を学び、郷土愛を醸成して、地域の宝を次世代に引き継いでいくことをめざします	歴史文化基本構想策定事業 まる博構想推進事業	文化財課 博物館
	現状と課題 ・本市は、豊かな自然と歴史に恵まれ、多くの有形・無形文化財を有しており、これらは今日まで先人たちの努力によって引き継がれてきた。 ・しかし、超少子高齢化や生活様式の変化などに伴い、このような歴史文化を守り、継承していく環境は、厳しさを増している。 ・本市の歴史・文化遺産を市民一人ひとりが大切に守っていく気運を醸成することが課題		
基本施策	施策の目的と目標	抽出事務事業	担当課
6-4-2 (城下町まつもとにふさわしいまちづくり) 冊子P143	松本のまちを形成する核であり、市民共有の宝である松本城を保存し、城下町に暮らす市民の誇りを守り育て、「松本城を中心としたまちづくり」を通じた、品格あるまちをめざします	松本城世界遺産推進事業 観光宣伝	文化振興課 松本城管理事務所
	現状と課題 ・松本市民は松本城を心から愛し、城下町に暮らす誇りをもって守り続けそこから、歴史・文化を尊び、教育熱心な固有の市民気質が育まれてきた。 ・これからも松本の魅力ある資源・財産に一層の磨きをかけ、松本城と城下町まつもとにふさわしい品格を持ったまちづくりを進め、城下町まつもとに暮らす誇りを次代に引き継いでいくことが課題		

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	2 - 1 - 2	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.63	30.1%

事業名 主な事業	総合評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千円)	人件費 (単位:千円)	コスト合計 + (単位:千円)
1 男女共同参画推進事業 松本市男女共同参画推進委員会の実施 男女共同参画・人権に関する意識調査の実施 長野県19市男女共同参画行政事務研究会への参加	A	男女共同参画地区推進委員の設置	100.0%	平成28年度の意識調査では、家庭における家事の分担については依然として男性の参加が少ないが、平成23年度に実施した調査と比較すると微増しており、少しづつではあるが変化が表れている。 審議会における女性委員の割合については増減を繰り返しながらも微増の傾向が続いている。	人権・男女共生課	56	6,027	6,083
		松本市の附属機関における女性委員の比率	102.1%					
2 男女共同参画推進事業 (地方創生) 事業主向けセミナーの開催 企業訪問 従業員へのカウンセリング等	A	両立支援プログラム策定企業数	95.0%	企業側は、ワークライフバランス重要性は理解しているものの、企業にとってのメリットがより明確にならなければ積極的な取組みに移らないため、好事例の集積に努める必要がある。	人権・男女共生課	5,440	3,036	8,476
		女性センター事業 意識啓発事業 相談事業 人材育成事業	男女共同参画地区推進委員の設置 松本市の附属機関における女性委員の比率	100.0% 98.0%	・利用者数が減少傾向であり、女性センターの更なるPRが必要。 ・女性団体の高齢化、会員の減少が進んでおり、新たな団体との連携を模索する必要がある。	人権・男女共生課	4,214	8,384
4 補助金(人権男女共生課) 部落解放・人権政策確立要求松本市実行委員会	A	全国・県等研修会等への参加	100%	1965年の「同和対策審議会答申」を受けて始まった同和問題の根本的な解決をはじめ、市民の立場から人権意識の普及をしてきた。2016年12月新たに「部落差別の解消の推進に関する法律」が制定され、一層の意識啓発の推進強化が必要である。				
		5 トライあい・松本管理 トライあい・松本、第三地区公民館及び第三地区福祉ひまわり	A	トライあい・松本利用者数	91.0%	利用者の減少と高齢化が課題であり、利用者増に向け取り組む	人権・男女共生課	6,443
6 トライあい・松本事業 各種講座企画・運営	A			開催講座数	150%	利用者増につながる、特色ある事業を展開する必要がある	人権・男女共生課	1,183
		受講者数	92.4%					
7 人権教育推進事業 学校人権教育研究協議会等の参加 学校人権教育担当指導主事研修の参加 全国人権同和教育研究大会の参加				人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようとする意欲と実践力をもった人間を育てるため、人権課題に即した教職員の研修や各学校への周知に努めたい。	学校指導課	154	1,000	1,154
		8 人権教育推進事業(小学校) 中心校による公開研究授業を行う '児童用副教材'あけぼのの全面改定による更新				人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようとする意欲と実践力をもった人間を育てるため、各校で人権教育を推進するとともに、研究、修養に努める。	学校指導課	340
9 人権教育推進事業(中学校) 中心校による公開研究授業を行う '中学生用副教材'あけぼのの全面改定による更新						人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようとする意欲と実践力をもった人間を育てるため、各校で人権教育を推進するとともに、研究、修養に努める。	学校指導課	261

事務事業評価票

部局名	総務部	課名	人権・男女共生課	課CD	01370000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	男女共同参画推進事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	男女共同参画推進費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

学識経験者や関係団体の代表から成る付属機関の運営、市民対象の意識調査、県内他市と合同での研究・情報交換を行い、本市の男女共同参画を推進するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本市男女共同参画推進委員会
学識経験者・関係団体代表からなる付属組織「松本市男女共同参画推進委員会」を開催し、男女共同参画計画の策定、施策推進に外部の意見を反映させる。
・実施回数 3回
- 男女共同参画・人権に関する意識調査
松本市民の男女共同参画に対する意識動向等を把握し、男女共同参画計画や諸施策に反映させるため、意識調査を定期的実施するもの
・5年に1回実施(直近は平成28年度)
- 長野県19市男女共同参画行政事務研究会
県内各市の取組状況、共通課題への対応、事例研究等の情報交換を行い本市の男女共同参画の施策に反映させる。
・実施回数 1回(会場は19市輪番制)
- 男女共同参画推進委員等研修会
当該委員ほか一般市民も含め男女共同参画に対する見識を深めるため講師を招いて研修を行う。
・実施回数 1回

< 現状に対する認識 >

平成28年度の意識調査では、家庭における家事の分担については依然として男性の参加が少ないが、平成23年度に実施した調査と比較すると微増しており、少しずつではあるが変化が表れている。
審議会における女性委員の割合については増減を繰り返しながらも微増の傾向が続いている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	男女共同参画地区推進委員の設置				
指標の設定理由	地域における男女共同参画を推進する指標とするため				
目標値	35	35	35	35	35
実績値	35	35			
達成度	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標(指標名)	松本市の付属機関における女性委員の比率				
指標の設定理由	社会の各分野における女性の登用を押し量る指標であるため。				
目標値	33.2%	33.6%	33.9%	34.3%	34.7%
実績値	33.2%	34.3%			
達成度	100.0%	102.1%	0.0%	0.0%	0.0%

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	2,411	56			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,411	56			
人件費(千円)	5,383	人工 6,072	人工	人工	人工
正規	5,383	0.7	6,072	0.8	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	7,794	6,128			
前年度比	-	78.6%			

事務事業評価票

部局名	総務部	課名	人権・男女共生課	課CD	01370000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	男女共同参画推進事業 (地方創生)
-------	----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	男女共同参画参画推進費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み			若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
5つの重点目標		3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略			新しい働き方・雇用の創出

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～H31

男女共同参画社会の形成促進のため、事業主と従業員がともに働き方に多様性を認め、仕事と家庭の両立を図りながら働き続ける環境整備を支援する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 事業主向けセミナー
仕事と家庭の両立支援に関わる法律の解説、子育て支援施策等の周知、各種両立支援助成金の案内、企業側メリットの説明などをセミナーで説明する。9回実施 参加企業 延べ122社
- 2 企業訪問
事業主向けセミナー参加企業を中心に、企業訪問し、ワークライフバランス推進及びそれに伴う就業規則改正等の相談に応じる。延べ131社訪問
- 3 従業員へのカウンセリング等
従業員向けセミナー、従業員カウンセリング等を行い、従業員の仕事と家庭の両立ができるよう支援する。
・従業員向けセミナー 実施延べ回数 23回、参加延べ人数251人参加
・カウンセリング 延べ実施回数220回

< 現状に対する認識 >

企業側は、ワークライフバランス重要性は理解しているものの、企業にとってのメリットがより明確にならなければ積極的な取組みに移らないため、好事例の集積に努める必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	両立支援プログラム策定企業数				
指標の設定理由	事業を促進し、男女共同の環境整備のための指標				
目標値	10	20	20	20	
実績値	8	19			
達成度	80.0%	95.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	3,282		5,440							
国・県	1,641		2,720							
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,641		2,720							
人件費(千円)	3,845	人工	3,036	人工		人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,036	0.4						
嘱託	0		0							
合計コスト +	7,127		8,476							
前年度比	-		118.9%							

事務事業評価票

事務事業名	人権教育推進事業(小学校)
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	人権教育推進費(小学校)

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

児童が人権感覚を培い、差別のない社会を築くこと。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

各小学校において人権教育の推進を図るとともに、市内5ブロックで継続している中心校による公開研究授業を行うもの。

(1) ブロック中心校の公開授業のための消耗品費を配当
平成29年度ブロック中心校1校
今井小学校 10,000円

(2) 児童用副教材「あけぼの」の全面改定による更新
(平成29年度は中学年版が改定)
3学年児童数分 789冊
教師用 1校1冊×28校

< 現状に対する認識 >

人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようする意欲と実践力をもった人間を育てるため、各校で人権教育を推進するとともに、研究、修養に努める。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち	主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	582		340							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	582		340							
人件費(千円)	77	人工	76	人工		人工		人工		人工
正規	77	0.01	76	0.01						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	659		416							
前年度比	-		63.1%							

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	人権教育推進事業(中学校)
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	人権教育推進費(中学)

< 事業の狙い >

事業計画年度 ~

お互いの実践を見合うことで研修を重ね実践力を高めること。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

各中学校において人権教育の推進を図るとともに、市内5ブロックで継続している中心校による公開研究授業を行うもの。

- ブロック中心校の公開授業のための消耗品費を配当
平成29年度ブロック中心校4校
開成中学校、清水中学校、高綱中学校、丸ノ内中学校 各10,000円
- 中学生用副教材「あけぼの」の配布数を学級最大数になるよう購入
各校一クラスの最大生徒用分 1冊500円 × 464冊

< 現状に対する認識 >

人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようとする意欲と実践力をもった人間を育てるため、各校で人権教育を推進するとともに、研究、修養に努める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	103		261				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	103		261				
人件費(千円)	77	人工	76	人工		人工	
正規	77	0.01	76	0.01			
嘱託	0	0	0	0			
合計コスト +	180		337				
前年度比	-		187.3%				

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	6 - 3 - 1	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	文化芸術活動の推進	音楽や芸術にふれている(音楽や芸術活動に取り組んだり、干渉することを含む)(市民の行動)	2.49	3.6%

事業名 主な事業	総合評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千円)	人件費 (単位:千円)	コスト合計 + (単位:千円)
1 文化芸術振興審議会 各種競技会、発表会等出場者祝金交付	B	音楽や芸術に触れていると 思う市民の割合	90.9%	松本市文化芸術振興基本方針に掲げる対象事業について、P D C Aサイクルによる進行管理と各事業の評価検証を実施する。 歌舞伎や大道芸などの市民協働事業や、補助金・祝金の交付、また、楽部・まつもとライブの実施やアーティストバンクの拡充等による文化芸術活動・発表の場の創出により、文化芸術活動の推進を図る。	文化振興課	26,794	30,220	57,014
2 鈴木鎮一記念館管理事業 管理運営	B	音楽や芸術に触れていると 思う市民の割合	90.9%	平成26年度実施の耐震診断の結果、基準値を下回っているため、平成30年度に耐震補強工事を実施予定(平成30年度当初予算計上済み)	文化振興課	3,060	759	3,819
		来館者数	99.9%					
3 波田文化センター管理運営事業 管理運営 施設改修事業	A	音楽や芸術に触れていると 思う市民の割合	90.9%	市民との協働による文化芸術イベントを実施するなど、西部地域の文化芸術拠点としての役割を果たしている。 現状では、規模の小さなホールという特徴を活かした運営が行われている。 施設の老朽化が進んでいることから、計画的な改修が必要である。 利用状況等を考慮し、施設の位置づけ及び今後のあり方についての検討を進める必要がある。	文化振興課	37,975	2,277	40,252
		波田文化センター来館者及び 事業参加者数	110.5%					
4 音楽文化ホール管理運営事業 音楽文化ホール運営委員会 管理運営	B	音楽や芸術に触れていると 思う市民の割合	90.9%	国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供したり、県内唯一のコンサート用オルガン等を活用した演奏会や講習会の実施、また、音楽愛好団体等への活動支援や育成援助を実施し、市の音楽文化の向上に努めた。 中長期的な視点から着手した第2期の施設・設備改修事業の6年目を実施した。	文化振興課	358,639	10,486	369,125
		音楽文化ホール来館者数及び 事業参加者数	68.7%					
5 まつもと市民芸術館管理運営事業 まつもと市民芸術館管理運営事業 まつもと市民芸術館施設整備事業	A	音楽や芸術に触れていると 思う市民の割合	86.1%	松本からの創造・発信型事業を展開するとともに、県内外から優れた舞台芸術作品を招聘し、多くの市民に鑑賞の機会を提供している。 開館15年目となるH30年度から3カ年をかけて、舞台設備を中心に大規模改修工事を実施する。	文化振興課	520,030	7,590	527,620
		まつもと市民芸術館来館者 及び事業参加者数(人)	124.8%					
6 まつもと市民芸術館事業 まつもと市民芸術館事業費補助金交付 (一財)松本市芸術文化振興財団事業費補助金 ・国、県及び民間補助金の活用	A	まつもと市民芸術館来館者 及び事業参加者数	124.8%	指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団が、芸術監督をはじめとする専門職員を配置し、多様な文化芸術の提供を実施している。 松本からの創造・発信型事業を展開するとともに、県内外から優れた舞台芸術作品を招聘し、多くの市民に鑑賞の機会を提供している。	文化振興課	113,420	7,590	121,010
		自主事業件数	111.4%					
7 国際音楽祭推進事業 国際音楽祭推進事業 共催負担金	A	音楽や芸術に触れていると 思う市民の割合	90.9%	小澤芸術を求めるクラシックファンは世界各地に存在し、毎年注目を集めている。 リピート率は高く、固定的なファンを多く有する。 小澤総監督の後継者とオーケストラのクオリティーの維持が課題である。	国際音楽祭 推進課	240,300	25,660	265,960
		UMTを職員とし、日ガモ音楽などの文化・芸術活動を やってみたくと思った人の割合	122.2%					
8 美術館管理運営 美術館管理運営 美術館の大規模改修	A	ギャラリーABの稼働率 (%・利用日/利用可能日数)	100.2%	貸館部門については、年々使用が増加しているなか、利用調整会議を実施し、県展規模の展覧会、周年記念事業等、慶事に伴う展覧会等を優先に、多くの団体に利用できるように調整をする。大規模改修については、30年度から現地調査を行う予定であるが、住宅課も調査へ立会いながら、概算工事費の査定を実施する。	美術館	219,535	22,011	241,546
		ミュージアムショップ売払収入 (千円)	145.4%					
9 美術館事業 展覧会事業 草間彌生顕彰事業	A	企画展の観覧者数(人)	129.0%	展覧会は、より多くの方に鑑賞いただけるようメディアとの共同開催による広報・宣伝等、開催方法について検討する。草間顕彰は、特別展を通してメディアや商業施設等とタイアップし、国内外へのPRを強化すると共に、市内の回遊に繋がる企画運営を行う。教育普及は、学校との連携を深め、美術館の展示と教材を活用した鑑賞教育を充実させる。保存管理は、適切な作品保存環境の維持に努め、引き続き計画的な修復等業務を継続する。	美術館	124,971	47,671	172,642
		講座等への参加者数(人)	327.3%					

事務事業評価票

事務事業名	文化振興推進事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	文化振興推進費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
松本市の文化芸術の振興及びそのために必要な機能向上を図るための事業等を実施するもの。 市民との協働による文化の醸成を図り、市民の文化芸術活動への参画・協力の機会を増やすための事業に協力するもの。	

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 文化芸術振興審議会 文化芸術振興基本方針の振興管理と評価検証を行うため、審議会を設置、開催したもの。2回/年開催。
2 各種競技会、発表会等出場者祝金交付 各種競技会、発表会等に出場する市民に対し、祝金を交付したもの。祝金10件交付。
3 (一財)松本市芸術文化振興財団事務局事務 松本市芸術文化振興財団の運営に係る業務の一部を委託するもの。
4 市制施行110周年「NHKのど自慢」 市とNHK長野放送局が共催。出場者20組25人。観覧者1,245人。
5 楽都・まつもとライブ 市制施行110周年「音楽と工芸のあふれるまちづくり事業」の一環。地元縁のある音楽団体等によるストリートライブ。25回/年開催。延観客数 10,503人。
6 補助金交付 市内で活動する演劇団体や華道団体及び才能教育研究会に対し補助したもの。3件/年交付。

< 現状に対する認識 >

松本市文化芸術振興基本方針に掲げる対象事業について、PDCAサイクルによる進行管理と各事業の評価検証を実施する。 歌舞伎や大道芸などの市民協働事業や、補助金・祝金の交付、また、楽都・まつもとライブの実施やアーティストバンクの拡充等による文化芸術活動・発表の場の創出により、文化芸術活動の推進を図る。
--

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民に対する文化振興施策の推進状況を図るため(H29実績値は、調査対象が18~39才のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%			
達成度	96.7%	90.9%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	36,893		26,794							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	36,893		26,794							
人件費(千円)	26,915	人工	30,220	人工		人工		人工		人工
正規	26,915	3.5	27,324	3.6						
嘱託	0	0	2,896	1.0						
合計コスト +	63,808		57,014							
前年度比	-		89.4%							

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	まつもと市民芸術館事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興	
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと市民芸術館事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

「まつもと市民芸術館管理運営方針」に基づき、高水準の芸術文化を創造し、鑑賞する場、市民自らが芸術文化活動を行う場、また、市民交流の場を提供し、更なる市民の文化レベルの向上と、まちの活性化に寄与する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- まつもと市民芸術館事業費補助金交付
指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団が行う自主事業公演に対し、市補助金を交付するもの。
(一財)松本市芸術文化振興財団事業費補助金 100,000千円
- 国、県及び民間補助金の活用
国、県及び民間の補助事業を積極的に取込み、指定管理者による自主事業の財源確保に努めるもの。
(29年度実績)
文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業補助金 13,420千円

<現状に対する認識>

・指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団が、芸術監督をはじめとする専門職員を配置し、多様な文化芸術の提供を実施している。
・松本からの創造・発信型事業を展開するとともに、県内外から優れた舞台芸術作品を招聘し、多くの市民に鑑賞の機会を提供している。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	まつもと市民芸術館来館者及び事業参加者数				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	212,000	214,000	216,000	218,000	220,000
実績値	251,109	267,076			
達成度	118.4%	124.8%			
成果指標(指標名)	自主事業件数				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	35	35	35	35	35
実績値	44	39			
達成度	125.7%	111.4%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	118,500		113,420							
国・県	13,500		13,420							
利用者負担金										
その他	5,000									
一般財源	100,000		100,000							
人件費(千円)	3,845	人工	7,590	人工		人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	7,590	1.0						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	122,345		121,010							
前年度比	-		98.9%							

事務事業評価票

事務事業名	美術館事業
-------	-------

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	~
市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、美術館が目指す4つの柱(鑑賞・表現・学習・交流の場)を踏まえた事業を実施する。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
1 展覧会事業 市制施行110周年記念・美術館開館15周年記念事業として以下企画展を開催(人数は観覧者数)。コレクション展(常設展)は、新収蔵作品おひろめ展、「山の日」特集展示、宮坂勝と石井柏亭の収蔵品展を行い、市制施行110周年記念の特別企画として、日本浮世絵博物館の所蔵品展を開催した。 (1)「堤清二展」(当館顧問であった堤氏の収集作品等を展示)8,479人 (2)「山本二三展」(アニメーションの背景画家の原画等を展示)39,411人 (3)「細川宗英展」(地元出身作家を顕彰する企画)6,007人 (4)「草間彌生展」(地元出身作家を顕彰する企画)23,489人(3月末まで)
2 草間彌生顕彰事業 特別展開催による各種PRや外国語版パンフレットを増刷する等、国内外への発信に努めた。(増刷部数:英語版 20,000部、繁・簡体語版 各10,000部)
3 教育普及事業 各世代を対象とした各種ワークショップや講座のほか、展覧会や美術の魅力伝えるための「館長講座」「学芸講座」を開催。また、学校への出張講座や見学対応等で美術館所蔵品をカードにした鑑賞教育教材を活用し、子どもたちが美術に親しむ機会を創出した。 開催実績 講座数147人(内子ども対象38講座)、参加人数6,218人(内子ども対象 5,983人)
4 保存管理事業 作品の保存管理のため、修復・額装や館内環境調査を行った。 修復・額装実績 修復14点、額装12点

<現状に対する認識>
展覧会は、より多くの方に鑑賞いただけるようメディアとの共同開催による広報・宣伝等、開催方法について検討する。草間顕彰は、特別展を通しメディアや商業施設等とタイアップし、国内外へのPRを強化すると共に、市内の回遊に繋がる企画運営を行う。教育普及は、学校との連携を深め、美術館の展示と教材を活用した鑑賞教育を充実させる。保存管理は、適切な作品保存環境の維持に努め、引き続き計画的な修復等業務を継続する。

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略		

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	企画展の観覧者数(人)				
指標の設定理由	PRなど、市民等への周知が充分であるか測定できるため				
目標値	42,500	60,000			
実績値	38,248	77,386			
達成度	90.0%	129.0%			
成果指標(指標名)	講座等への参加者数(人)				
指標の設定理由	時代のニーズにあう講座が開催されたか測定できるため				
目標値	1,900	1,900			
実績値	7,883	6,218			
達成度	414.9%	327.3%			

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	85,157	124,971			
国・県					
利用者負担金	39,015	32,379			
その他	104	62			
一般財源	46,038	92,530			
人件費(千円)	48,990	47,671			
人工	6	5.9			
正規	46,140	44,781			
嘱託	2,850	2,890			
合計コスト +	134,147	172,642			
前年度比	-	128.7%			

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	6 - 3 - 2	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる(スポーツに取り組んだり、観戦することを含む)(市民の行動)	2.38	2.6%

事業名	総合評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千円)	人件費 (単位:千円)	コスト合計 + (単位:千円)
1 スポーツ振興事業 市主催のスポーツ教室、イベント等の開催 スポーツを通じた姉妹・友好都市との交流	A	継続的にスポーツに親しんでいる市民の割合	66.5%	市民体育大会・市長杯等野球大会の参加者数や全国大会出場祝金の利用者数はほぼ目標に達し、競技人口の広がり、レベルの向上は評価ができる。 今後はスポーツの裾野を広げるために、各種教室の他、活動しているサークル、団体等を市民に紹介し気軽に参加できる環境をつくる。	スポーツ推進課	24,049	15,380	39,429
2 スポーツ施設管理運営事業 体育施設予約等受付 施設の維持・管理(修繕・営繕工事)	A	体育施設利用者総数(人)	91.3%	計76施設について、利用者が安全で安心して利用できる適切な管理が必要。 地区体育館は、築30年を目的に大規模改修を計画的に進めているが、各施設とも一定の年数が経過していることから、経常的な修理や、器具・備品等の修繕については緊急性・必要性に考慮しながら、スピード感のある対応が求められている。	スポーツ推進課	480,221	46,548	526,769
3 学校体育施設開放事業 学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を計画的に社会体育に開放 社会体育の実施に必要な器具、備品、消耗品等について整備を行い、施設の利用環境を整えるもの	A	登録団体数 登録人数	99.7% 95.2%	利用団体数、登録人数は概ね目標に近いが、登録団体は地区単位で活動するグループがほとんどのため、頭打ち感がある。 今後はスポーツの裾野を広げるために、加入団体等を市民に紹介し気軽に参加できる環境をつくる。	スポーツ推進課	7,113	7,690	14,803
4 市民生涯スポーツ振興事業 熟年者健康スポーツ支援センター管理運営事業 熟年者体育大学総合体育館コース	A	熟年者体育大学総合体育館 コース熟大生(定員120×2 学年)	64.2%	定員割れをきたしている現状から、広報活動の強化が必要	スポーツ推進課	8,561	16,600	25,161
5 社会体育館大規模改修事業 大規模改修 大規模改修実施設計				建設から、一定の年数が経過し、劣化等による修理・改修が必要な状況となっているため、必要性・緊急性に配慮しつつ、スピード感を持って取り組む必要がある。 社会体育館整備改修計画を見直し、これまでの年1館の整備から年2館とするためH29は実施設計の対応増。今後の体育館整備は、スピード感を持って対応する。	スポーツ推進課	163,583	5,383	168,966
6 プール改修事業 松本市民プール・変形プール循環設備改修				プールは高い安全性と衛生面の確保が求められるため、常に適正管理に努め、計画的な整備が必要。	スポーツ推進課	49,756	1,538	51,294
7 サッカー場改修事業 人工芝面改良工事				夜間利用が可能な人工芝のサッカー場は、松本市サッカー場とかがねサッカー場の2ヶ所のみで、夜間、休日等の利用予約は90%超の状況。昼間も少年から社会人まで幅広く利用されている。 今年度の公認検査には合格。次回更新はH32を予定。	スポーツ推進課	4,212	769	4,981
8 プロスポーツ振興事業 松本山雅FC 信濃グランセローズ	A	松本山雅FC パブリックビューイング (人)	114.2%	松本山雅FCにより地域住民の新たな繋がりが生まれ、地域経済にも大きな効果をもたらすなど、プロスポーツが地域活性化に大きく貢献していることから、継続して取り組む必要がある。	スポーツ推進課	8,815	7,690	16,505
9 四賀運動広場整備改修事業 造成工事(-平成30年度)の継続 スタンド等改築主体工事				H28着手した造成工事は継続中 スタンド等改築主体工事は予定通り着手したが、現場での地盤調査において、地盤支持力が設計値を満たしていないことが判明したため、現在、工事を一時中止し対応策を検討しており、最低8カ月間の中断を余儀なくされた。	スポーツ推進課	116,718	3,845	120,563

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	スポーツ振興事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	市長公約	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興		5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	スポーツ振興事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~

スポーツの振興を通じて、市民の健康増進、交流を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の事業を実施

- 1 市主催のスポーツ教室、イベント等の開催
 - ・市内35地区対抗の市民体育大会秋季大会、春夏秋冬の競技別の市民体育大会、市長杯争奪球技大会(いずれも松本体育協会に委託)を開催し延べ15,150人が参加した
 - ・ファミリースポーツカーニバル(松本市スポーツ推進委員協議会に委託)を開催し、「体力測定」「ニュースポーツ体験」などを通じて、市民がスポーツに触れる機会とした(参加者568人)
 - ・親子健康教室、シニア健康教室を延べ60回開催し、2,577人が参加した
 - ・市民歩こう運動の一環として、「気分爽快ウォーク」を年2回計画し、6月開催には86人が参加した。なお11月は雨天のため中止となったが申込者は31人だった。
- 2 スポーツを通じた姉妹・友好都市との交流
 - ・姉妹都市の姫路市、藤沢市、交流都市の金沢市、鹿児島市とのスポーツ市民交流を実施し
松本市、姉妹交流都市合わせて323人が交流した
- 3 市民スポーツ活動への支援
 - ・総合体育館内のトレーニング室を延べ33,757人が利用した
 - ・全国大会出場祝金として各種競技会(ブロック大会以上)及び国体に出場する市民に対して祝金を交付した(延べ254人に交付)
 - ・スポーツ推進員協議会事業をサポートし、地域のスポーツ活動を支援した

< 現状に対する認識 >

市民体育大会・市長杯争奪球技大会の参加者数や全国大会出場祝金の利用者数はほぼ目標に達し、競技人口の広がり、レベルの向上は評価ができる。
 今後はスポーツの裾野を広げるために、各種教室の他、活動しているサークル、団体等を市民に紹介し気軽に参加できる環境をつくる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	継続的にスポーツに親しんでいる市民の割合				
指標の設定期理由	市民満足度調査 = 成果 18~39歳のアンケート結果				
目標値	50.2	52.6	55.1	57.5	60.0
実績値	45.1	35.0			
達成度	89.8%	66.5%			
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	25,513		24,049							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	25,513		24,049							
人件費(千円)	15,380	人工	15,380	人工		人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,380	2						
嘱託	0		0	0						
合計コスト +	40,893		39,429							
前年度比	-		96.4%							

事務事業評価票

事務事業名	市民生涯スポーツ振興事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市民生涯スポーツ振興事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度 H27～H32

熟年者健康スポーツ支援センター設置及び熟年体育大学を開校することにより、高齢者の体力低下の抑制や健康づくりを行うとともに、受講者同士の交流を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 熟年者健康スポーツ支援センター管理運営事業
支援センター利用者に、個人の目的に応じた健康・運動の情報や方法を提供し、体力保持・増進や生活の質を高め健康的な生活が送れるよう支援(器具を使った筋力トレ、体操などの指導)を実施
- 熟年体育大学総合体育館コース
運動・生活習慣を見直し、運動を継続することによる心身の健康・体力づくりを支援(入学資格 40歳以上 期間 2年間)
[1学年]
・29年度受講者 67名 年22回の講座を実施
[2学年]
・29年度受講者 87名 年14回の講座を実施
[講座概要]
松本大学、信州大学等の講師による健康講座やスポーツ実技、ウォーキング、体力測定、血液検査など

< 現状に対する認識 >

定員割れをきたしている現状から、広報活動の強化が必要

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	熟年体育大学総合体育館コース熟大生(定員120×2学年)				
指標の設定理由	募集定員に対する受講者数 = 成果				
目標値	240	240	240	240	240
実績値	197	154			
達成度	82.1%	64.2%			
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	9,113		8,561							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,113		8,561							
人件費(千円)	16,212	人工	16,600	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,690	1						
嘱託	0	0	0	0						
非常勤特別職	8,522	3	8,910	3						
合計コスト +	25,325		25,161							
前年度比	-		99.4%							

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	2 - 3 - 2	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	出産・子育て環境の充実	出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスが充実している	2.79	35.0%

事業名	総合評価	成果指標	達成度(%)	現状に対する認識	担当課	事業費(単位:千円)	人件費(単位:千円)	コスト合計(単位:千円)
1 母子健康対策 母子健康手帳の交付 新生児・乳幼児訪問	B	子育てに負担を感じた時に 対処法がある母親の割合 (%) 3歳児健診時調査	135.1%	少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。	健康づくり課	4,272	33,436	37,708
2 母子健康対策 乳児健診(4カ月、10カ月) 幼児健診(1歳6か月、3歳)		乳幼児健診の受診率 (4ヶ月、10か月、1歳6か月、 3歳の平均)(%) 3歳児歯科健診時のう歯保 有児数	97.4% 106.4%	少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、その子とその親に寄り添った育児支援が行えるよう相談・支援体制の強化を図ります。 また、幼児期のむし歯予防を通じ、生涯にわたる健康増進と歯周疾患予防を行います。	健康づくり課	32,985	60,215	93,200
3 母子健康対策 両親学級 離乳食教室(初期 中期)	A	育児不安解消率(両親学級) (%)	99.5%	少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、妊娠期から産後も安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。 妊娠期から子育て期までの情報提供、親子の交流の場を提供し子育て支援を行います。	健康づくり課	3,133	26,815	29,948
4 少子化対策事業 育児ママヘルプサービス 産後ケア事業	B	子育てに負担を感じた時に 対処法のある母親の割合 (%) 3歳児健診時調査 合計特殊出生率	74.0% 96.2%	少子化が進む中で、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。	健康づくり課	40,950	17,200	58,150
5 妊婦一般健康推進事業 妊婦一般健康診査 妊婦一般健康診査県外受診	A	健診受診率(基本健診受診 券発行枚数(14枚)に対する 利用数の割合(%))	94.8%	妊娠中の妊婦の健康を維持し、安心・安全な分娩・出産に向け必要な事業	健康づくり課	213,988	8,149	222,137
6 ファミリー・サポート・センター運営事業 育児の援助を受けたい方に有料で育児に関する援助活動を実施 時間帯を拡大した緊急サポート事業を実施	A	利用者数	151.8%	登録会員数、利用件数ともに増加しており、核家族化が進むなか必要な事業であると考え、また、緊急サポート受付は、受付時間を拡大することによって何かあった時に頼れる事業があるという子育て中の保護者の安心につながっている。 登録者数の増加に伴い、サポート訪問事業と兼務の嘱託職員を増員することを検討したい。	こども育成課	3,704	5,059	8,763
7 子育て支援センター運営事業 こどもプラザの運営 地域子育て支援事業補助金	A	延べ利用者数 子育て支援事業補助事業/ 実施地区数	93.7% 60.0%	子育ての孤立化、子育て不安等を解消するため、必要不可欠の施設である。 4館ともに建設から10年以上経過し、計画的な施設管理を行う必要がある。 補助金は、地域での子育て支援の充実を目指して、補助制度の周知及び事業実施の担い手の育成により一層取り組む。	こども育成課	9,423	42,804	52,227
8 つどいの広場事業 児童館・児童センター等を活用して市内21カ所でつどいの広場事業を実施	A	利用者数	90.5%	地域のつながりが希薄化し、核家族化が進むなか、より身近な場所で親子が交流できる場を提供することは、子育て支援を充実につながると思う。 27年度までにこどもプラザのない地区(小学校区)で実施箇所数を増やし、実施してきたが、子育て支援の充実を望む声もあり、地域の実情により増設が必要である。	こども育成課	57,073	1,518	58,591
9 子育て支援ネットワークづくり事業 研修会の開催 講演会の開催	D	研修会参加者数	49.7%	子育て支援団体と協働で子育て支援の学習や各団体同士の情報交換を行うことによって、より一層子育てしやすい環境整備を目指すもの。 子育てグループ、支援団体、個人等を登録対象とし、研修会・視察・講演会等を実施しているが、参加者数の低下が大きな課題である。	こども育成課	1,035	1,518	2,553

事業名 主な事業		総合 評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千 円)	人件費 (単位:千 円)	コスト合計 + (単位:千 円)
10	子育て家庭支援者派遣事業 ・自宅での一時保育や育児に伴う家事援助などを希望する利用会員家庭に、支援会員が訪問	A	延利用者数	59.7%	登録者数、利用者数ともに年々増加しており、より子育てしやすい環境づくりのために必要な事業である。今後、さらに登録者が増加した場合、ファミリー・サポート・センター事業と兼務の嘱託職員増員を検討する必要がある。また、子育て家庭の要望に応えるためにもサポーターの発掘、育成が必要であり、養成講座の継続開催によりサポーターの確保に努める。さらに、支援が必要な世帯への制度の周知方法を検討し、支援が受けやすくなるように努める。	こども育成課	1,106	3,903	5,009
11	子育て家庭優待パスポート事業 ・ながの子育て家庭優待パスポート	A	協賛店舗数	131.7%	子育て家庭への支援拡大のため、県と連携して配布、周知等を行う。	こども育成課	727	759	1,486
12	学習支援・交流等スペース設置運営事業 ・引きこもり状態にある小・中学生等を対象に、自由に過ごしたり交流したりできる居場所を提供 ・ボランティアの指導員を募り、通所する子どもたちの学習のサポートを実施	A	居場所利用者数	268.6%	利用者の急増による施設の狭あい化が問題となっている。	こども育成課	3,338	759	4,097
13	放課後子ども教室推進事業 ・学校の余裕教室等を利用し、自由に参加できる居場所の提供	B	延べ利用人数	64.0%	支援員確保のため、支援員の処遇改善について検討が必要である。	こども育成課	6,057	2,385	8,442
14	休日保育事業 ・日曜日・祝日に保育を実施(こどもプラザ1カ所)	A	延利用者数	100.6%	多様な就労形態に対応するため、日曜日・祝日に保育を行うものである。 市内では、こどもプラザ1カ所のための開設であり、必要な事業であると考ええる。	こども育成課	1,787	1,518	3,305
15	病児保育事業 ・生後5カ月から小学3年生までの病中の児童の保育を実施	A	延利用者数	129.7%	保護者が安心して就労するために必要な事業である。 女性の社会進出に伴い利用者数は年々増加しているため、関係各所と調整を進め、丸の内病院(30年4月～)及びまつもと医療センター(30年6月予定)が開設した。 今後は、引き続き、円滑な事業実施を継続するとともに、利用者への適正利用の周知を行う。	こども育成課	54,501	1,518	56,019
16	病後児保育事業 ・満1歳から就学前の病氣回復期(病氣は治癒している)にある児童の保育を実施	A	延べ利用者数	131.3%	病氣が治癒しているとはいえ、体力が低下している子どもの登園等が心配な保護者の利用があり、一定の需要がある。 子育て中の保護者が安心して就労するために必要な事業である。	こども育成課	172	13,078	13,250
17	安心子育て応援事業 ・第2子以降の母子手帳交付時に、ファミリー・サポート・センター事業の10時間分無料券を配布 ・子育てしやすい環境づくりのために子育てを支援する人材を発掘、育成	A	配布人数 講座受講者数	105.9% 40.0%	地方創生戦略事業の1つとして平成27年度から無料券配布事業を実施した。補助金終了に伴い、無料券配布事業は、30年度末(配布は29年度末)に終了することを検討したい。 子育てサポーター養成講座は継続し、サポーターの養成に努める。	こども育成課	428	0	428
18	児童館整備事業 ・施設環境の維持管理及び改善を実施	A	施設整備数	100.0%	松本市公共施設管理計画に基づき、木造築40年の施設について、他施設との合築、統廃合を含めて検討する。	こども育成課	88,315	3,036	91,351
19	児童館管理運営事業 ・市内27館の公設・公営児童館・児童センターの管理・運営を実施	B	児童館延利用者数	119.5%	平成32年度からの子ども子育て支援事業計画の見直しに向けて、アンケート等で実態を把握し、適正な計画策定を行う。	こども育成課	392,222	6,072	398,294

事務事業評価票

事務事業名	学習支援・交流等スペース 設置運営事業
-------	------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学習支援・交流等スペース設置運営事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H25 ~

主に引きこもり状態にある小・中学生等を対象として居場所を提供し、学習のサポートや相談により、引きこもり状態の改善を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >

1 実施内容	(1) 引きこもり状態にある小・中学生等を対象に、自由に過ごしたり交流したりできる居場所を提供すること。 (2) ボランティアの指導員を募り、通所する子どもたちの学習のサポートを行うこと。 (3) 子どもと親の悩みを聞き、必要に応じて関係各所との連携を図ること。 (4) 子どもや親に、教育、子育て、子育て支援等の情報提供を行うこと。
2 開所時間	水曜日・金曜日 13時～18時 その他、スポーツ活動の日、学習支援の日などを設けている。
3 運営形態	業務委託

利用者の急増による施設の狭あい化が問題となっている。

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	居場所利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	624	624	624	624	624
実績値	1,940	1,676			
達成度	310.9%	268.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	1,910		3,338				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	1,910		3,338				
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工	
正規	769	0.1	759	0.1			
嘱託	0		0				
合計コスト +	2,679		4,097				
前年度比	-		152.9%				

事務事業評価票

事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	こんにちは赤ちゃん事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

乳児家庭と地域をつなぎ乳児家庭の孤立化を防ぐため、子育て支援に関する必要な情報提供を行う。また、支援が必要な家庭に対して、適切なサービス提供することで地域で子どもが健やかに育つ環境整備を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

生後4カ月までの乳児のいる全ての家庭を各地区の民生・児童委員や主任児童委員が訪問し、子育てガイドブックにより子育て支援に関する情報提供を行います。また、母子に関する悩みを聞き、必要とする適切なサービスへ結び付け、乳児家庭の孤立化を防ぎ乳児の健全育成を支援する事業です。
また、食の大切さ・木のぬくもりをつたえるため、ファーストスプーンとして「手作りの木製スプーン」を贈っています。

平成29年度実績
 訪問対象児 1,805人
 訪問実施数 1,666人
 訪問率 92.3%

< 現状に対する認識 >

生後4ヶ月までの乳児のいる家庭に対して、9割以上家庭訪問が実施され、長期不在等で訪問できなかった家庭にも4ヶ月健診、10ヶ月健診までに対象児全ての状況確認ができています。
支援が必要な家庭に対して、必要なサービスを提供できています。
事業開始から8年が経過し、活動が周知されてきている。

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >		< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >	
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約 公約 2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み 子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標 2 次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略 子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	子育て支援が必要な家庭に対して支援の実施割合				
指標の設定理由	支援の状況を把握できるため				
目標値	80	85	90	95	95
実績値	100	100			
達成度	125.0%	117.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	2,866	2,587			
国・県	955	861			
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,911	1,726			
人件費(千円)	1,909	人工	4,770	人工	人工
正規	769	0.1	3,036	0.4	
嘱託	1,140	0.4	1,734	0.6	
合計コスト +	4,775	7,357			
前年度比	-	154.1%			

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	4 - 1 - 2	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	3Rの推進	市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	3.26	6.4%

事業名 主な事業	総合評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千円)	人件費 (単位:千円)	コスト合計 + (単位:千円)
1 ごみ減量対策事業 一般廃棄物処理計画策定事業 3Rに係る事業	B	ごみの総排出量(単位:t)	103.4%	年々ごみの総排出量は減少しているが、基本計画に掲げる目標を達成できていないため、更なるごみ減量化施策の推進が必要である。 キッズ・リユースひろば事業の安定的な継続を図るためには、市民団体等による運営方法を検討する必要がある。 剪定枝のリサイクルは公共施設だけでなく、民間へ広げていくことを検討する。	環境政策課	16,042	6,650	22,692
		キッズ・リユースひろば事業 リユース品年間配付点数	189.5%					
2 環境基本計画推進事業 食品ロス削減事業 ecoオフィスまつもと認定事業	B	残さず食べよう！推進店・事業所登録数	118.0%	世界的課題でもある食品ロスを削減するため、市民や事業者等と連携した取り組みが必要 家庭ごみの減量化を図るため、家庭版30・10運動の啓発を重点的に実施することが必要 国等の協力を得ながら、松本から情報発信し浸透・拡大を図る。 ecoオフィスまつもと認定事業では新規申請が伸び悩んでいることから、事業者が認定を取得したいと思える制度にしていくことが必要である。	環境政策課	11,912	14,240	26,152
		ecoオフィスまつもと新規認定事業所数	36.4%					
3 清掃業務管理 (松塩地区広域施設組合負担金) 松本クリーンセンター、あずさセンター、余熱利用施設 (ラーラ松本)等の管理・運営への負担金				ごみの減量化と生活排水の適正な管理を行うため、組合と連携して施策を進める。	環境政策課	946,154	759	946,913
4 し尿処理業務 水洗化されていない市管理施設等のし尿収集の実施				水洗化にできない市管理施設等に対応するため継続が望ましい。	環境業務課	39	1,518	1,557
5 環境衛生指導 ポイ捨て防止活動や環境美化活動の推進 不法投棄パトロール及び不法投棄物の回収を実施				不法投の処理量は横ばいとなっており、河川敷等のポイ捨てが目立つ。 不法投棄パトロールの実施と、町会と連携し「不法投棄防止フェンス」や「不法投棄禁止看板」の設置を行い、対応を行う。	環境業務課	53,345	91,871	145,216
6 清掃業務管理 ごみ集積所への排出方法を周知・啓発		ごみの総排出量(t)	103.4%	「ごみ・資源物の収集日程表」及び「ごみの分け方・出し方」は町会へ加入している市民には町会を通して配布されるが、町会に加入していない市民や外国人の方のように情報を提供するかが課題となっている。 平成29年7月からごみ分別アプリを導入し、ごみ分別等の情報を配信している。アプリは7カ国語に対応しているため、課題となっている外国人の方への周知に活用するとともに、ごみ処理に関する様々な情報を積極的に配信し、ごみの減量・適正処理につなげていく。	環境業務課	5,116	23,383	28,499
7 塵芥収集業務 可燃・不燃ごみ等の収集運搬 ごみステーション建設費補助		家庭系ごみ収集量(t)	120.1%	近年、家庭系ごみの排出量は減少しているが、減量割合が鈍化してきているため、引き続きごみの排出環境の整備・適正処理に努めるとともに、ごみの減量に係る施策をあわせて実施する。	環境業務課	325,575	117,175	442,750
		1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(g)	120.8%					
8 ごみ減量対策事業 事業系ごみの減量の推進 資源物の収集運搬に係る事務		ごみの総排出量(t)	103.4%	年々ごみの総排出量は減少しているが、一般廃棄物処理計画に掲げる目標値を達成できていないため、ごみ減量化施策及び適正処理業務の更なる推進が必要である。 民間事業者による資源物回収ボックスの設置により、市として回収する資源物量が減少し、リサイクル率が低下している。 市が行う資源物のステーション回収を安定的に実施するためには町会の協力が不可欠であるが、今後も協力を得るためには町会への助成に直結する町会ステーション回収量を維持する必要がある。	環境業務課	180,624	25,841	206,465
		リサイクル率(%)	39.7%					
9 ごみ処理関連施設周辺整備対策事業 施設整備事業 周辺環境整備支援事業				ごみ関連施設は見学や視察が多いため、イメージアップとなるよう、周辺の環境整備が求められている。 事業により市が建設した公民館が経年により修繕が必要となっているため、計画的に修繕を実施する。	環境業務課	38,511	7,590	46,101

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
主な取組み		「もったいない」をキーワードに、ごみの減量
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H20 ~
--------	-------

松本市一般廃棄物処理計画の推進を図るため、「もったいない」をキーワードとして3R(リデュース・リユース・リサイクル)に係る事業を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 一般廃棄物処理計画策定事業
 - (1) 基本計画策定
平成29年度末までを計画期間とする松本市一般廃棄物処理計画について、今後10年間の基本方針を定める次期計画を策定(平成29年度は松本市環境審議会専門部会を4回開催)
 - (2) 実施計画策定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、毎年度、実情に応じた一般廃棄物の処理に関する事項を定める実施計画を策定
- 2 3Rに係る事業
 - (1) 松本キッズ・リユースひろば事業
使用期間の短い子ども服や育児用品を回収し、必要な子育て世帯に無料で配付(配付会を年間6回開催、延べ1,745世帯が参加)
 - (2) 不用食器リサイクル事業
市民との協働により、家庭で不用になった食器を回収し、状態の良いものは無料で配布(リユース)し、その他のものは新しい製品の原材料としてリサイクルを行う。市の役割として回収食器の運搬及び再資源化費の負担並びに事業のPR等を実施(食器の年間再資源化量 約16.2トン)
 - (3) 剪定枝等再資源化事業
公共施設等から排出される剪定枝等について、従来は松本クリーンセンター

・年々ごみの総排出量は減少しているが、基本計画に掲げる目標を達成できていないため、更なるごみ減量化施策の推進が必要である。
 ・キッズ・リユースひろば事業の安定的な継続を図るためには、市民団体等による運営方法を検討する必要がある。
 ・剪定枝のリサイクルは公共施設だけではなく、民間へ広げていくことを検討する。

< 指標の達成状況 >

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	ごみの総排出量(単位:t)				
指標の設定理由	本事務事業は、ごみの減量を指向したものであるため。				
目標値	89,315	86,829	88,277	86,677	84,618
実績値	91,793	89,793			
達成度	102.8%	103.4%			
成果指標(指標名)	キッズ・リユースひろば事業リユース品年間配付点数				
指標の設定理由	本事業は、ごみの減量に向けた取組みであるため。				
目標値	24,000	24,800	25,600	26,400	27,200
実績値	27,000	47,000			
達成度	112.5%	189.5%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	15,676		16,042							
国・県	2,368		2,400							
利用者負担金										
その他										
一般財源	13,308		13,642							
人件費(千円)	4,899	人工	6,650	人工		人工		人工		人工
正規	4,614	0.6	6,072	0.8						
嘱託	285	0.1	578	0.2						
合計コスト +	20,575		22,692							
前年度比	-		110.3%							

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境基本計画推進事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み		「もったいない」をキーワードに、ごみの減量
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H23 ~
--------	-------

環境基本計画に定める持続可能な循環型社会の構築を目指して、廃棄物の発生抑制などを推進するため食品ロス削減事業等に取り組むもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 食品ロス削減事業
 あらゆる世代で「もったいない」を心がけた食品ロスを減らす取組みを進めるため、残さず食べよう！30・10運動や残さず食べよう！推進店・事業所認定制度(認定数110店、67事業所)、フードドライブなどを実施
 食品ロス削減の取組みが全国に一層拡大するよう、市制110周年記念 第1回食品ロス削減全国大会を、本市と全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会の主催、消費者庁、農林水産省、環境省の共催により開催した。(大会参加者:1日目約800人、2日目約150人)

2 ecoオフィスまつもと認定事業
 第3次松本市環境基本計画に定める5つの柱において、事業者に望まれる取組みを推進するため、申請のあった事業所を環境に配慮した取組内容に応じて評価し、ecoオフィスとしてランク別に認定
 (新規認定事業所:4社、合計:19社)

<現状に対する認識>

- ・世界的課題でもある食品ロスを削減するため、市民や事業者等と連携した取組みが必要
- ・家庭ごみの減量化を図るため、家庭版30・10運動の啓発を重点的に実施することが必要
- ・国等の協力を得ながら、松本から情報発信し浸透・拡大を図る。
- ・ecoオフィスまつもと認定事業では新規申請が伸び悩んでいることから、事業者が認定を取得したいと思える制度にしていくことが必要である。

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	残さず食べよう！推進店・事業所登録数				
指標の設定理由	食品ロス削減の取組みの市民への広がりを示す指標であるため				
目標値	100	150	175	200	225
実績値	111	177			
達成度	111.0%	118.0%			
成果指標(指標名)	ecoオフィスまつもと新規認定事業所数				
指標の設定理由	環境に配慮した取組みを行っている事業所を示す指標の1つであるため				
目標値	15	11	14	17	20
実績値	7	4			
達成度	46.7%	36.4%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	7,894	11,912			
国・県	1,429	160			
利用者負担金					
その他					
一般財源	6,465	11,752			
人件費(千円)	8,459	人工	14,240	人工	
正規	8,459	1.1	13,662	1.8	
嘱託	0		578	0.2	
合計コスト +	16,353	26,152			
前年度比	-	159.9%			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地下水対策事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地下水対策事業

<事業の狙い>

事業計画年度

S60~

地下水の保全の基礎資料にするため、地下水の水位を継続監視するもの

総合評価

B

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地下水水位常時観測井戸数				
指標の設定理由	適切な観測場所を選定し、連続測定する必要があるため。				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 市所有の3カ所(清水、島立、今井)の観測井で地下水水位を365日24時間連続測定
2 観測記録の集計整理 各井戸で測定した結果を集計、解析し、地下水保全対策の基礎資料とする。

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	399		392							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	399		392							
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3						
嘱託	0		0							
合計コスト +	2,706		2,669							
前年度比	-		98.6%							

<現状に対する認識>

・主に都市化を原因とする地下水のかん養量の減少により1990年代中頃まで地下水位の低下が続いたが、それ以降はほぼ横ばい
・地下水の保全に欠かせない常時観測であり、その結果を11市町村と県とで組織する「アルプス地域地下水保全対策協議会」で共有している。集計結果は流域全体にとっても健全な水循環を維持する施策の重要な基礎資料として役立っている。

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	こだわりのある商店街づくり事業
-------	-----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	個店、商店街の国際化支援	
基本施策(個別目標)	512	中心市街地の賑わいの創出	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
			松本版総合戦略			

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	こだわりのある商店街づくり事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

多くの来街者や観光客が訪れる魅力ある商店街づくりのため、個性ある集客イベントや共同で行う販売促進活動を行う商店街団体等に対し、経費の一部を支援するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 商店街まちおこし事業
個性ある誘客イベント事業(事業費が50万円以上)に対し、開催に要する経費の1/3を支援
実績 9件
- 2 商店街活動強化事業
共同で行う販売促進活動に要する経費の1/3を支援
実績 9件
- 3 商店街賑わい創出事業
歩行者天国を実施する誘客イベントに要する経費の1/2を支援
実績 3件

< 現状に対する認識 >

引き続き、制度の周知を強化し、商店街団体等の積極的・主体的な取組みによる、まちの賑わいを創出する事業に対し支援を行う。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	商店街活動振興事業補助件数				
指標の設定理由	魅力ある商店街づくりに対する取組みの指標となるため				
目標値	31	28	30	30	30
実績値	23	21			
達成度	74.2%	75.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	7,273		7,180							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,273		7,180							
人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工		人工		人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7						
嘱託	0		0							
合計コスト +	12,656		12,493							
前年度比	-		98.7%							

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	商業振興事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	522	商業の振興
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み	〇個店、商店街の国際化支援	
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	商業振興事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

個性的で魅力ある店舗や商店街づくりを進めるため、安心安全な店舗づくりや、地域に密着した活力ある商店街づくりを目指し行っている各種事業に対し支援をするもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 中心市街地活性化事業
中心市街地の空き店舗・空き地調査や、回遊性向上に繋がる事業に対し支援
- 商店街街路灯LED化事業
商店街団体が電気料負担の軽減を図るため行う、街路灯のLED化事業に対し支援
・実績 1件
- 空き店舗活用事業
商店街の空き店舗を解消するため、空き店舗を賃貸して出店する場合の家賃に対し支援
・実績 5件
- 商店等グレードアップ事業
急増する外国人や高齢化社会に対応し、来店者にとって安全、安心で、魅力ある店舗づくりを進めるため、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた店舗改修事業に対し支援
・実績 12件
- 地元グルメPR事業
地元グルメ(山賊焼)を全国的な認知度向上のため、イベントにおいて出展・PRを行う山賊焼き応援団に対し支援
・実績 藤沢市民まつり、いしかわ食フェスタ、銀座NAGANOにおいて出店

＜現状に対する認識＞

各種制度の周知を強化するとともに、まちの賑わいの創出につながる事業者や商店街団体等の積極的、主体的な取組みに対し支援を行う。

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	商店等グレードアップ事業補助件数				
指標の設定理由	魅力ある店舗づくりを進める指標となるため				
目標値	10	10	10	10	10
実績値	12	12			
達成度	120.0%	120.0%			
② 成果指標(指標名)	松本市中心市街地入居店舗率(空き店舗率から算出)				
指標の設定理由	中心市街地の活性化(魅力ある商店街づくり)に対する指標となるため				
目標値	88%	88%	88%	88%	88%
実績値	88.40%	91.6%			
達成度	100.5%	104.1%			

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	28,012		27,611							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	28,012		27,611							
② 人件費(千円)	13,073	人工	12,903	人工		人工		人工		人工
正規	13,073	1.7	12,903	1.7						
嘱託	0		0							
合計コスト①+②	41,085		40,514							
前年度比	—		98.6%							

事務事業評価票

事務事業名	健康寿命延伸新需要創造事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	松本地域健康産業推進協議会事業費

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み	新松本工業団地への健康・医療産業等の誘致	
基本施策(個別目標)	532	健康産業の創出	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略	健康・医療産業の創出・育成	

< 事業の狙い >	事業計画年度	H23 ~
松本ヘルスバレー構想実現のため、国の成長戦略の一翼を担う健康寿命の延伸を目指す健康、医療・介護分野において、産業の創出と集積を図ることで、地域産業の育成と雇用に結び付けることを、市民及び産学官の協働により持続可能な都市政策として推進するもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >	
1	松本地域健康産業推進協議会会員数 307団体(前年比41増)
2	健康産業フォーラム 4回開催(5/29、7/22、10/27、3/22)
3	実証実験・実用化検証助成事業(協議会会員の実証実験を助成) 4件実施
4	「健康経営」推進企業向けサービス開発
5	医療・福祉・健康ICT基盤の検討 (地域包括ケアとヘルスケア産業に繋がる新しいICT基盤構築)
6	松本ヘルス・ラボの推進
7	「歩こうBiz & CycleBiz」事業 (29年度は健康経営普及を目的とした企業対抗ウォーキングイベントを実施)
8	第7回世界健康首都会議の開催(11/16、17)
9	企業連携事業の推進

少子高齢型人口減少社会が急速に進展し、生産人口が減少する中、経済成長が懸念視されている。そんな中、健康産業は経済循環の観点から90年代の「ICT産業」に続くものと位置づけている経済学者もあり、今後の世界経済において、経済発展の大きな波となる可能性が高い。こういった現状を踏まえ、松本地域健康産業推進協議会がプラットフォームとなって、成長性の見込まれるマーケットへの進出を推進することで、松本ヘルスバレー構想の基盤を確固たるものとする必要がある。

< 指標の達成状況 >		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	実用化に向けた実証事業等の件数					
指標の設定理由	経済効果を検証することが困難なため、制度のアウトプット指標を成果指標とした					
目標値	2	2	2	2	2	
実績値	4	4				
達成度	200.0%	200.0%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
区分	事業費(千円)	11,761		11,526							
	国・県										
	利用者負担金										
	その他										
	一般財源	11,761		11,526							
人件費(千円)	22,930	人工	22,732	人工		人工		人工		人工	
	正規	19,225	2.5	18,975	2.5						
	嘱託	3,705	1.3	3,757	1.3						
合計コスト +	34,691		34,258								
前年度比	-		98.8%								

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

事務事業名	健康産業市民協働促進事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	532	健康産業の創出

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	健康産業市民協働促進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 H26 ~

市民(地域住民)の健康増進と、市民との共創によるヘルスケア産業の創出・育成の実現をめざすもの(国の地方創生推進交付金活用事業)

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 【企業向け】市民参加による健康産業創出の場
開発中の健康づくりのための製品やサービスを松本ヘルス・ラボ会員が試験的に体験し、評価を行うモニタリングサービスを実施
H29年度実施件数4件(他、企業製品に関するワークショップ実施件数1件)
- 【会員向け】健康づくりの機会提供
・健康チェック 年2回実施
(体力テスト、血液検査、身体測定ほか)
・健康増進プログラム 月2回程度実施
(ラジオ体操、ヨガ、ストレッチ、脳トレ、栄養学講座、ロコモ予防講座ほか)
- オフィスの活用と設備の充実
・平成29年3月に開設したオフィスについて、保健師による定期的な健康相談や展示スペース、企業と連携したプログラムの実施等に活用
・オフィスに体組成計及び骨密度計を導入し、健康の見える化を実施
- 新規会員獲得に向けた取り組み
・「楽市楽座」や「手まり時計まつり」等、市内イベントに合わせて健康チェックを実施することで、市民に向けたPRを実施
・イオンモール松本において、会員及び市民向けにウォーキングを実施することで、新規会員獲得を図った。

<現状に対する認識>

会員の世代構成の偏りや、会員獲得の進捗等を課題として認識し、今後は働く現役世代の参加を推進すべく、「法人会員制度」を開始する。これにより、市内中小企業の健康経営とヘルス・ラボにおける会員増強を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	松本ヘルス・ラボ登録会員数				
指標の設定理由	松本ヘルス・ラボの組織規模と事業規模を計る上で適しているため				
目標値	800	800	1000	1100	1200
実績値	450	750			
達成度	56.3%	93.8%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	64,534		25,370							
国・県	26,286		11,750							
利用者負担金										
その他										
一般財源	38,248		13,620							
人件費(千円)	16,235	人工	16,047	人工		人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2						
嘱託	855	0.3	867	0.3						
合計コスト +	80,769		41,417							
前年度比	-		51.3%							

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

事務事業名	健康産業関連商品普及促進事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み	新松本工業団地への健康・医療産業等の誘致	
基本施策(個別目標)	532	健康産業の創出	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略	健康・医療産業の創出・育成	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	健康産業関連商品普及促進事業

<事業の狙い>

事業計画年度 H27 ~

松本地域健康産業推進協議会実証実験を活用して開発されて製品について、広く市民への普及促進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

制度の概要

健康寿命延伸に寄与するものとして松本地域健康産業推進協議会の実証実験等を活用して開発された製品について、広く市民への普及促進することにより、市民の健康寿命の延伸及び地域の健康産業の活性化を図るため、製品購入金額の一部を補助するもの。
 ・購入金額の最高20%(上限額5万円)を補助
 ・補助金の交付申請は購入者が行い、1人につき同一製品3件まで
 ・補助交付申請できる期間は、登録販売価格を登録した日から2年度

平成29年度実施状況

・制度改正(補助申請者の変更、割引要件の削除等)を実施
 ・指定製品 2件
 ・補助実績 10件

<現状に対する認識>

制度改正により、申請件数は増加した。制度の周知を図り、より一層、制度の活用促進につなげる必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	補助件数				
指標の設定理由	補助制度の利用状況が直接的にわかるため				
目標値	20	20	20	20	20
実績値	0	10			
達成度	0.0%	50.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		180							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		180							
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	769		939							
前年度比	-		122.1%							

事務事業評価票

事務事業名	自殺予防対策事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	自殺予防対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度 H29 ~ H35

自殺予防に関して、市民の啓発、相談体制の強化、身近な地域での見守り体制の構築等、総合的な対策を推進する

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >

- 1 普及・啓発・教育の推進
 広報の掲載(9月)
 自殺予防街頭キャンペーン(3月)
 青少年への教育・啓発
 ・市内中学2年生へのパンフレットの配布
 ・市内中学3年生と高校3年生に配布する新生活応援レシビ集にコラム掲載
- 2 相談・支援体制の充実
 自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の開設
 平成29年度実人数75件
- 3 気づき・見守る地域づくり
 地域支援者養成講座: 民生児童委員、健康づくり推進員等へ情報提供
 平成29年度 2352人
- 4 関係団体との連携
 自殺予防対策推進協議会の開催
- 5 第2期自殺予防対策推進計画の策定

< 現状に対する認識 >

平成29年度策定の第2期自殺予防対策推進計画に基づき事業を展開するとともに、より一層若年者及び働き盛り世代への対応の強化を進める。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地域支援者の養成				
指標の設定理由	身近な地域で支える人の増加を図るため				
目標値	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
実績値	2,043	2,352			
達成度	102.2%	112.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	8,831		10,200				
国・県	4,501		5,382				
利用者負担金	0		0				
その他	0		0				
一般財源	4,330		4,818				
人件費(千円)	19,952	人工	25,072	人工		人工	
正規	19,610	2.55	24,668	3.25			
嘱託	342	0.12	405	0.14			
合計コスト +	28,783		35,272				
前年度比	-		122.5%				

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	1 - 2 - 1		市民満足度調査結果	平均値	回答保留			
	地域医療の充実		日常にいて、必要な医療を受けることができる	3.50	2.9%			
事業名	総合評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千円)	人件費 (単位:千円)	コスト合計 + (単位:千円)
主な事業								
1	B	イベント参加者数	60.0%	平成28年度までは、市民と医療従事者が「ありがとう」の気持ちを伝えあう意見発表の場としていたが、手法を変え、29年度から講演会、パネルディスカッションを開催し、広く市民や関係者の呼びかけ、地域医療について考える機会とした。 今後も、講演会やパネルディスカッションを開催したいが、より多くの方が出席できるよう周知することが必要である。	医務課	45	669	714
				講演会、パネルディスカッションの開催) ありがとうメッセージの募集				
2		年間受診者数		施設、医療機器の老朽化や受診者の減少に伴い、診療所の用途廃止について、地元町会へ打診し、了解を得たことから、平成32年3月31日を目標にて診療所を廃止するもの。 また、地区内や隣接する地区に複数民間の歯科医院があるため、現在受診している受診者には、次の主治医につなぐまで丁寧に説明するものとする。	医務課	7,945	820	8,765
				四賀地区において歯科診療所を運営				
3		年間受診者数(内科)		施設の移転改築により利用者が増加した。今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。	医務課	24,942	1,087	26,029
		年間受診者数(歯科)						
4		年間受診者数		今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。	医務課	3,662	524	4,186
5		年間受診者数		今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。	医務課	6,714	524	7,238
6		年間受診者数		今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。	医務課	26,501	1,337	27,838
7		年間受診者数		今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。	医務課	61,574	2,096	63,670
8	C	経常収支比率	98.3%	入院患者、外来患者、救急搬送、分娩数とも減少傾向にあり、収益減の要因になっている。地域の医療需要や医療を取り巻く環境の変化に対応した病院の規模・機能の見直しを行う必要がある。	市立病院事務部	2,478,332	2,180,840	4,659,172
9	A	訪問件数	111.2%	現在の医療制度では、入院中の患者について状態が安定してきた場合、入院期間を短縮し在宅で療養する「在宅医療」にシフトしてきており、訪問看護の需要はますます高くなるが見込まれる。地域包括ケアシステムを構築していくためにも充実すべき事業である。	市立病院事務部	15,124	30,360	45,484

事務事業評価票

事務事業名	松本市立病院事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	
予算中事業名	松本市立病院事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

松本平の西部地域の基幹病院として、地域医療、周産期医療等を担い、地域住民の医療需要に応える。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市西部地域の基幹的な病院として、地域医療の観点から、救急医療、周産期医療、へき地医療支援の政策医療や、疾病予防から在宅医療までの地域に必要な医療を提供する。

経常収支比率 95.4

< 現状に対する認識 >

入院患者、外来患者、救急搬送、分娩数とも減少傾向にあり、収益減の要因になっている。地域の医療需要や医療を取り巻く環境の変化に対応した病院の規模・機能の見直しを行う必要がある。

部局名	病院局	課名	市立病院事務部	課CD	30140000
-----	-----	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	2	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	市立病院、会田病院の移転・改築	
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
	松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	経常収支比率				
指標の設定理由					
目標値	96.2	96.6	100	101.1	101.7
実績値	94	95			
達成度	98.1%	98.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	2,280,966	2,478,332			
国・県					
利用者負担金	496,595	533,170			
診療報酬	1,438,602	1,544,559			
その他					
一般財源	345,769	400,603			
人件費(千円)	2,228,700	2,180,840			
正規	2,191,650	285	2,140,380	282	
嘱託	37,050	13	40,460	14	
合計コスト +	4,509,666	4,659,172			
前年度比	-	103.3%			

事務事業評価票

部局名	病院局	課名	市立病院事務部	課CD	30140000
-----	-----	----	---------	-----	----------

事務事業名	松本市立病院訪問看護事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >	
会計名	
予算中事業名	訪問看護事業

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >			
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	いつでも医療が受けられるまち	主な取組み			市立病院、会田病院の移転・改築
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実	5つの重点目標	5		将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
通院、治療の必要はないが、看護補助なしでは日常生活を送れない人が、自宅等で健康的に過ごす。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
在宅療養患者の住居を定期的に訪問し、状態の把握や服用薬の整理、入浴介助等を行なう。また、昼夜問わず緊急時にも相談や指示など要望に応えられる体制を執り、利用者の安全を確保している。
訪問の対象地域を、本市の西部地域(島立、新村、和田、神林、今井、梓川、安曇、奈川、波田)と山形村、朝日村、安曇野市とし患者の確保に努めている。
状態により、当院や他医療機関への受診や入院となる場合、それぞれの地域連携室等と手続をとり、患者・家族の利便性を高めている。
訪問延数 5,170件

< 現状に対する認識 >
現在の医療制度では、入院中の患者について状態が安定してきた場合、入院期間を短縮し在宅で療養する「在宅医療」にシフトしてきており、訪問看護の需要はますます高くなることが見込まれる。地域包括ケアシステムを構築していくためにも充実すべき事業である。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	訪問件数				
指標の設定理由					
目標値	4,400	4650	4700	4700	4700
実績値	4,645	5,170			
達成度	105.6%	111.2%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	10,622	15,124			
国・県					
利用者負担金	4,776	5,149			
その他	5,846	9,975			
一般財源					
人件費(千円)	30,760	人工	30,360	人工	
正規	30,760	4	30,360	4	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	41,382	45,484			
前年度比	-	109.9%			

事務事業評価票

事務事業名	会田病院事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	会田病院事業
予算中事業名	病院事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

地域医療の充実

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >

松本市四賀地区の唯一の病院として、地域医療の観点から、一次救急医療、地域に必要な医療を提供する。
--

< 現状に対する認識 >

平成30年4月からの無床診療所化に向けて、平成28年度末の一般病床廃止及び29年度末の介護療養病床廃止に伴う入院患者調整のため、入院収益は減少したが、外来患者は増加傾向で外来収益は増加している。

部局名	病院局	課名	会田病院	課CD	
-----	-----	----	------	-----	--

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	2	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	経常収支比率				
指標の設定理由					
目標値	100	100			
実績値	98.4	108.7			
達成度	98.4%	108.7%			
成果指標(指標名)	財政計画比較(財政計画における当期純利益)				
指標の設定理由					
目標値	-	-			
実績値	-6,493	32,005			
達成度	-	-			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	274,918		229,348				
国・県							
利用者負担金	36,850		31,474				
その他	157,588		102,879				
一般財源	80,480		94,995				
人件費(千円)	142,720	人工	126,840	人工		人工	
正規	99,970	13	83,490	11			
嘱託	42,750	15	43,350	15			
合計コスト +	417,638		356,188				
前年度比	-		85.3%				

事務事業評価票

事務事業名	初期救急医療事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	緊急救急医療等推進費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

必要な時に必要な医療が安心して受けることができる初期救急医療体制を整備するもの

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >

初期救急医療体制を整備するため、平日(夜間)・休日(昼夜間)に在宅当番医制業務を松本市医師会へ委託等するもの
 1年365日、切れ間なく初期救急として在宅当番医制をとっている。
 平日夜間(290日)、休日昼夜間(75日)、土曜午後(49日)

< 現状に対する認識 >

いつでも、誰もが、必要な時に、安心して医療を受けることができる環境を今後も整備するため、事業の継続は必要である。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
市長公約	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	初期救急件数(年間)				
指標の設定理由	必要な時に医療を受けることができる体制が整えられているかを直接的に把握できる				
目標値					
実績値	18,939	19,380			
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	14,853		14,852							
国・県										
利用者負担金	0		0							
その他										
一般財源	14,853		14,852							
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0		0							
合計コスト +	15,622		15,611							
前年度比	-		99.9%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	災害医療事業
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	緊急救急医療等推進費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援	
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略	健康・医療産業の創出・育成	

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
大規模地震等の災害発生時に、防災・保健・医療・福祉に関する諸団体が効率的に連携を図り、迅速・円滑な医療救護活動を実施するための体制の整備を図るもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
災害時の医療救護活動を円滑の行うため、活動に必要な医薬品等の整備を行うとともに、松本市総合防災訓練の一環として、関係団体が連携し、医療救護訓練を行うもの
1 総合防災訓練会場内に臨時医療救護所を設置し、地域住民参加による実践的な訓練を実施
2 トリアージを中心とする急性期の訓練に加え、亜急性期を想定した災害弱者対策訓練の実施
3 孤立地区の重症者搬送を想定し、ドクターヘリの出動を要請した合同訓練を実施

< 現状に対する認識 >
災害時に医療救護所が迅速に設置され、円滑な運営ができるよう、関係団体が連携し訓練を重ねることは重要なことであるので、事業の継続は必要である。訓練を通じて、検証を重ね、次の訓練に活かしていくことが必要である。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	訓練回数				
指標の設定理由					
目標値	1	1			
実績値	1	1			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	567	127			
国・県					
利用者負担金	0	0			
その他					
一般財源	567	127			
人件費(千円)	3,076	3,036			
正規	3,076	3,036			
嘱託	0	0			
人工	0.4	0.4			
合計コスト +	3,643	3,163			
前年度比	-	86.8%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	松本地域出産・子育て安心ネットワーク事業
-------	----------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援		
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略	健康・医療産業の創出・育成		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松本地域出産・子育て安心ネットワーク事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

安心・安全に出産ができる産科医療体制を確保するため、松本保健福祉事務所、松本医療圏構成市村、医療団体及び医療機関が連携して、「松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会」を設立し、分娩従事医師の負担軽減を図る等の事業を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

分娩従事医師の負担軽減と離職防止のため、松本保健医療圏域市村等で協議会を運営しているもの(負担金等)

- 1 分娩医療機関と健診協力医療機関の役割分担と連携体制の構築
- 2 両医療機関で利用する共通診療ノートの作成及び配布
- 3 連携強化病院従事医師への研究奨励金の支給
- 4 地域住民への広報活動(公開講座の開催、広報カードの作成)

< 現状に対する認識 >

医療機関の役割分担の推進により、妊娠初期に分娩医療機関を利用する妊婦は減少し、分娩医療機関の医師等の負担軽減が図られており、今後も安心して出産・子育てができる医療体制を推進するため、事業の継続は必要と考える。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	6,041		5,970							
国・県										
利用者負担金	0		0							
その他										
一般財源	6,041		5,970							
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工		人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2						
嘱託	0		0	0						
合計コスト +	7,579		7,488							
前年度比	-		98.8%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者虐待防止事業
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	障害者虐待防止事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
市長公約	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			

< 事業の狙い >	事業計画年度	H28 ~ H32
障害者虐待の発生防止、発生してしまった時に早期発見・早期対応ができるネットワークの構築を行う。また虐待が発生し障害者の身体・生命に危険を及ぼす危険がある場合に障害者を保護できる居室を確保できるようにしていく。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
1 虐待防止ネットワーク協議会開催 障害者、高齢者の虐待防止に係る機関・団体を構成メンバーにした協議会を開催し、周知啓発、早期発見、早期対応に向けた体制づくりと連携強化を行う。
2 虐待防止・早期発見のための周知啓発 虐待防止ネットワーク協議会構成団体及び市民の方への周知啓発を実施。
3 障害者虐待防止短期入所事業 障害者虐待により、障害者を緊急に保護分離しなければいけない時に受入先として指定短期入所施設の居室が確保できない場合がある。そのような時に代替施設を利用するための費用を支弁するもの。
4 在宅強度行動障害者等短期入所利用支援事業 家族の介護負担の増加が虐待発生の要因の一つであるため、虐待を未然に防ぐことができるようになるために、短期入所施設が障害者の受入れをしやすくするための支援体制を整備するもの。

< 現状に対する認識 >
相談・通報件数は年間10数件と少ない。障害者虐待に該当する行為であっても、虐待であるとの認識が無いまま支援が行われていることもある。さらなる周知啓発が必要である。あわせて受入をしてくれる障害者福祉サービス事業所が増える環境整備に努める必要がある。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	障害者福祉制度のあらし等配布による障害者虐待防止の周知啓発数				
指標の設定理由	直接、障害者に障害者虐待について周知ができ効果を得ているため。				
目標値	1,800	1,850	1,900	1,950	2,000
実績値	1,500	1,750			
達成度	83.3%	94.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	113	177			
国・県		88			
利用者負担金					
その他					
一般財源	113	89			
人件費(千円)	9,115	9,035			
正規	7,690	7,590			
嘱託	1,425	1,445			
人工	1	1			
人工	0.5	0.5			
合計コスト +	9,228	9,212			
前年度比	-	99.8%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者地域生活支援事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
市長公約	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
	5つの重点目標	1	健康とさえずなづくり
	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者地域生活支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H28～H32
--------	---------

障害者の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与するため、各種事業を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 理解促進研修・啓発事業
障害者等の自立した日常生活及び社会生活に関する理解を深めるための研修及び啓発を行う事業(委託により障害者週間イベントの実施)
- 自発的活動支援事業
障害者等、障害者等の家族、地域住民等により自発的に行われる障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるようにするための活動に対する支援を行う事業
社会福祉法人信濃友愛会への委託による本人活動支援事業の実施
- 相談支援事業
福祉サービスの利用援助、各種支援施策に関する助言、指導等の総合的専門的な相談支援の実施
松本障害保健福祉圏域構成市村による委託により実施(Wish、ボイス、あるぷ)
- 意思疎通支援事業
意思疎通を図ることに支障がある障害者等とその他の者の意思疎通を仲介するもの
手話通訳者派遣1,017件、要約筆記者派遣216件、手話通訳者設置1名
- 日常生活用具給付等事業
日常生活上の便宜を図るため、要件を満たす重度障害者に用具を給付するもの。

<現状に対する認識>

障害者の社会参加の促進、生活圏の拡大に大きく寄与しており、障害者が地域で生活するうえで必要不可欠な事業である。
制度の大枠は国の実施要綱で定められているものの、細部については地域の実情に応じて柔軟に実施ができることから、市町村間で格差も生じている。近隣市村において、可能な範囲で事業内容の平準化を検討していく。

<指標の達成状況>	総合評価	A
-----------	------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	日常生活用具給付事業給付件数				
指標の設定理由	地域における重度障害者(児)の生活状況が把握できるため				
目標値	4,622	4,758	4,898	5,042	5,190
実績値	5,194	5,134			
達成度	112.4%	107.9%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	319,986		320,111							
国・県	122,124		119,264							
利用者負担金	0		0							
その他	0		0							
一般財源	197,862		200,847							
人件費(千円)	9,115	人工	9,035	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1						
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5						
合計コスト +	329,101		329,146							
前年度比	-		100.0%							

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	3 - 2 - 2	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	防災・減災対策の推進	災害に対する備えをしている(市民の行動)	2.4	3.2%

事業名 主な事業	総合評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千円)	人件費 (単位:千円)	コスト合計 + (単位:千円)
1 負担金 (国、県の河川、砂防事業) ・犀川・梓川流域の砂防事業 ・奈良井川流域の河川整備事業				砂防、河川事業は、河川環境の改善、防災・減災の観点から重要な事業であるため、今後も、国・県に積極的な要望を継続する。	建設総務課	1,486	3,036	4,522
2 単独河川改良事業 ・都市化による雨水流出量の増加に対する断面確保や老朽化等による二次改良が必要な河川の整備				近年の集中豪雨や都市化による降雨時の流出量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。	建設課	40,552	6,831	47,383
3 単独水路改修事業 ・都市化による雨水流出量の増加に対する断面確保や老朽化等による二次改良が必要な水路の整備				近年の集中豪雨や都市化による降雨時の流出量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。	建設課	33,900	7,590	41,490
4 単独雨水渠新設改良事業 ・雨水渠及び雨水貯留施設の整備	B	雨水渠整備率 (整備面積 / 計画面積)	98.0%	近年の集中豪雨や都市化による降雨時の流出量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。	建設課	0	0	0
5 雨水渠改良事業 ・雨水渠及び雨水貯留施設の整備	B	雨水渠整備率 (整備面積 / 計画面積)	98.0%	近年の集中豪雨や都市化による降雨時の流出量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。	建設課	162,258	24,288	186,546
6 開発許可事務 ・都市計画法(昭和43年法律第100号)の規定による開発行為等の許可 ・大規模盛土造成地変動予測調査の実施		防災・減災対応の向上	100%	人口減少高齢化の進展により、空き家等の発生、将来的なインフラの維持・修繕・更新に係るコストの増大等の懸念が生じている。そのため、コンパクトシティを形成していく必要性が高まっていることから、開発許可制度はまちづくりの将来像を実現する手段として重要となってきた。大規模盛土造成地の安定性の評価が必要	建築指導課	2,696	33,256	35,952
7 狭あい道路対策事業 ・狭あい道路整備の促進 ・建築確認申請時等に協議を行い、道路後退用地の測量登記と物件補償(補助金)後に道路整備を行い、道路環境を改善	C	寄附率	39.1%	住宅等建築の際に協議を行い、後退用地の寄附をお願いしているが寄附率が伸び悩んでいる状態である。	建築指導課	5,452	1,518	6,970
8 建築確認事務 ・費用弁償(建築審査会その他開催に伴う委員等の車賃) ・普通旅費(職員出張に伴う鉄道賃、宿泊料及び日当)				確認申請の9割を民間建築確認機関が行う現状の中で、数少ない市の建築確認業務を適切に行い、違反是正、定期報告、民間建築確認機関の監視等の行政庁でなければ出来ない業務に生かして行く事が大切である。	建築指導課	1,599	42,428	44,027
9 建築物耐震補強促進事業 ・木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修、避難施設耐震診断等補助 ・要緊急安全確認大規模建築物の公表	A	住宅の耐震化率	97.3%	耐震診断、補強工事のニーズが高まってきているので、一層の周知と予算の確保が必要である。	建築指導課	18,085	7,438	25,523

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	単独河川改良事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独河川改良事業費

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
					松本版総合戦略

< 事業の狙い >	事業計画年度	H6 ~
市内を流れる河川の排水系列別の整備を進め、円滑な治水・排水により市民生活の安全性を確保するもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
都市化による雨水流出量の増加に対する断面確保や老朽化等による二次改良が必要な河川の整備
山田川……………(工事 L=51.5m C=8,122千円)
赤松沢……………(工事 L=10.0m C=17,258千円)
藤井沢……………(工事 L=10.0m C=983千円)
蛇川……………(工事 L=35.3m C=7,236千円)
河川現況調査(河川水路台帳修正) 1式 C=972千円
仮設排水ポンプ設置 1式 C=4,410千円

< 現状に対する認識 >
近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

< 指標の達成状況 >	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	河川状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	53,171	40,552			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	53,171	40,552			
人件費(千円)	6,921	人工	6,831	人工	人工
正規	6,921	0.9	6,831	0.9	
嘱託	0		0		
合計コスト +	60,092	47,383			
前年度比	-	78.9%			

事務事業評価票

事務事業名	単独水路改修事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独水路改修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H6 ~

市内を流れる水路の水系列、排水系列別の整備を進め、円滑な治水・排水により市民生活の安全性を確保するもの

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >

都市化による雨水流出量の増加に対する断面確保や老朽化等による二次改良が必要な水路の整備

- 高宮水路……………(工事 L=43.1m C=3,769千円)
- 村井西水路……………(工事 L=24.0m C=1,188千円)
- 並柳地区水路……………(工事 L=82.3m C=10,660千円)
- 横田運動公園水路……………(工事 L=94.7m C=12,204千円)
- 荒町南水路……………(工事 L=52.4m C=1,285千円)
- 四ツ谷東水路……………(工事 L=9.0m C=929千円)
- 他……………(工事)

< 現状に対する認識 >

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなくまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	水路状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不適当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	47,325		33,900				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	47,325		33,900				
人件費(千円)	7,690	人工	7590	人工		人工	
正規	7,690	1	7590	1			
嘱託	0		0				
合計コスト +	55,015		41,490				
前年度比	-		75.4%				

事務事業評価票

事務事業名	単独雨水渠新設改良事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独雨水渠新設改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度 H18～H37

都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため雨水渠の整備を進めるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

雨水渠及び雨水貯留施設の整備

< 現状に対する認識 >

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価 B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)				
指標の設定理由	都市浸水被害を防止するための施設整備状況を表すのに適当であるため				
目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%
実績値	19.3%	19.3%			
達成度	100.0%	98.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	7,089	0			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,089	0			
人件費(千円)	769	0			
正規	769	0			
嘱託	0	0			
合計コスト +	7,858	0			
前年度比	-	0.0%			

事務事業評価票

事務事業名	雨水渠改良事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	雨水渠改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度 H18～H37

都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため雨水渠の整備を進めるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

雨水渠及び雨水貯留施設の整備

県第一雨水幹線……………(貯留施設 V=1,000m³ C=72,000千円、補償 1 式)

(工事 L=116.0m C=22,486千円)

田川第一雨水幹線……………(詳細設計 1式)

並柳第一雨水幹線……………(工事 L=14.0m C=8,933千円、補償 1式)

筑摩雨水幹線……………(詳細設計 1式、補償 1式)

丸の内排水区雨水管……………(詳細設計 1式)

< 現状に対する認識 >

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価 B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)				
指標の設定理由	都市浸水被害を防止するための施設整備状況を表すのに適当であるため				
目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%
実績値	19.3%	19.3%			
達成度	100.0%	98.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	423,135		162,258							
国・県	211,549		81,106							
利用者負担金										
その他	195,100		81,100							
一般財源	16,486		52							
人件費(千円)	24,608	人工	24,288	人工		人工		人工		人工
正規	24,608	3.2	24,288	3.2						
嘱託	0		0							
合計コスト +	447,743		186,546							
前年度比	-		41.7%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	狭あい道路対策事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	狭あい道路対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	28~33
--------	-------

安全で良好な生活環境の向上を図るため、松本市狭あい道路の拡幅整備に関する条例(平成24年条例第29号)に基づき、市街化区域内にある市道の狭あい道路(幅員1.8m以上4m未満)を対象に、建築行為などの際に、後退用地についての協議を義務付け、拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路の拡幅整備の促進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

[事業実施内容]

- 1 拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路整備の促進を図るもの
- 2 建築確認申請時等に協議を行い、道路後退用地の測量登記と物件補償(補助金)後に道路整備を行い、道路環境を改善

[活動指標(実績値)]

- 1 寄附率 18%

<現状に対する認識>

住宅等建築の際に協議を行い、後退用地の寄附をお願いしているが寄附率が伸び悩んでいる状態である。

<指標の達成状況>

		総合評価		C		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	寄附率					
指標の設定理由	狭あい道路の拡幅状況を直接測定できるため					
目標値	45.0	46.0	47.0	49.0	50.0	
実績値	25	18				
達成度	55.6%	39.1%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	6,929	5,452			
国・県	3,800	1,707			
利用者負担金					
その他					
一般財源	3,129	3,745			
人件費(千円)	1,538	1,518			
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	8,467	6,970			
前年度比	-	82.3%			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	建築物耐震補強促進事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまちなち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み	震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化		
5つの重点目標			
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	建築物耐震補強促進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～32

建築物の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、旧耐震基準の木造住宅等の耐震診断実施や耐震改修の補助を行います。
また、松本市耐震改修促進計画を踏まえ、要緊急安全確認大規模建築物や避難路沿道建築物の耐震化を促進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【事業実施内容】	
1	木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修、避難施設耐震診断等補助
2	要緊急安全確認大規模建築物の公表
3	避難路沿道建築物調査に基づく義務化路線の検討
【活動指標(実績値)】	
1	住宅の耐震化率 82.7%

<現状に対する認識>

耐震診断、補強工事のニーズが高まってきているので、一層の周知と予算の確保が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	住宅の耐震化率				
指標の設定理由	耐震化の状況を直接的に測定できるため				
目標値	83.0	85.0	87.0	89.0	90.0
実績値	82.2	82.7			
達成度	99.0%	97.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	18,870		18,085							
国・県	11,132		11,693							
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,738		6,392							
人件費(千円)	7,536	人工	7,438	人工		人工		人工		人工
正規	7,536	0.98	7,438	0.98						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	26,406		25,523							
前年度比	-		96.7%							

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	3 - 3 - 2	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	道路整備の推進	移動しやすい道路網が整備されている	2.27	5.8%

事業名	総合評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千円)	人件費 (単位:千円)	コスト合計 + (単位:千円)
1 県有料道路通行料金負担軽減事業 ・県道路公社から市が通行券を購入 ・市の購入実績に応じて県が県道路公社へ負担				時間帯割引回数通行券の購入者からは、三才山トンネルの更なる早期無料化を求める要望があることから、上田市、安曇野市とともに、早期完全無料化を県へ要望していきます。	建設総務課	42,400	3,795	46,195
2 登記事務 ・未登記道路について、地権者からの寄付を前提に分筆測量を実施し、所有権を市へ移転する。 ・他課からの依頼による公有財産取得に伴う用地交渉や囑託登記事務事業				未登記道路は立会い等に併い発見されるため、業務量を事前に予測することは難しく、年度によって業務量の増減があるので、柔軟な対応が必要。	建設総務課	9,290	15,180	24,470
3 松本波田道路推進事業 ・追加インターチェンジの設置検討	B	追加インターチェンジ設置事業進捗率(活動指標)	100.0%	追加インターチェンジの設置に関する、松本波田道路への連結許可申請に向けた、国・県との協議を進める。	建設総務課	0	6,072	6,072
4 負担金 (道路建設及び整備) ・地域高規格道路松本系魚川連絡道路建設促進期成同盟会 ・中部縦貫自動車道(松本～中ノ湯間道路)建設・国道158号整備促進期成同盟会				更なる事業進捗が図れるよう国・県への要望活動を実施していく	建設総務課	875	26,565	27,440
5 補助金(国道19号) ・民間団体と連携して、国道19号の円滑な事業促進を図るため、補助金を交付し、地元協議会が行う研究、調査、地元調整等の活動を支援				国道19号は、松本市の幹線道路の骨格を担っている、また、複雑な権利関係が多い路線でもあるため、地元協議会と引き続き連携しながら事業促進を図る。	建設総務課	350	10,626	10,976
6 交付金 (中部縦貫自動車道建設事業) ・島立地区中部縦貫自動車道対策委員会 ・和田地区中部縦貫自動車道対策委員会				中部縦貫自動車道(松本波田道路)の事業促進を図るため、地権者を含めた地元対策を進めていく。	建設総務課	100	9,108	9,208
7 負担金 (県の道路事業県管理道路) ・県が行う道路改良事業について、円滑な事業推進が図られるよう、関係者等との調整 ・道路法第52条により、県が行う街路の新設または改良する費用の一部を負担				経済、文化、生活の基盤である街路整備の更なる促進に期待する	建設総務課	139,203	10,626	149,829
8 道路改良事業(社会資本) ・国の交付金を活用した幹線道路整備事業として、中環状線である市道7003号線を整備、及び、それに関連する南北幹線、市道5005号線の整備	B	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保(事業費ベースでの進捗率)	100.0%	近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業の遅延が懸念される。	建設課	139,237	5,313	144,550
9 道路改良事業(防災安全) ・国の交付金を活用した主要道路の歩行者の完全性確保のため、新たな歩道設置を含め2車線の道路整備	B	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保(事業費ベースでの進捗率)	97.1%	近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業遅延が懸念される。	建設課	61,018	7,590	68,608

事業名 主な事業		総合 評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千 円)	人件費 (単位:千 円)	コスト合計 + (単位:千 円)
10	過疎対策事業 四賀地区(過疎対策地域)の道路整備	B	緊急車両がスムーズに通行出来る様に整備(事業費ベースでの進捗率)	97.6%	地元要望により事業を進めているため、実施にあたり事業に対する合意形成に時間を要する場合がある。	建設課	17,301	3,795	21,096
11	単独新設改良事業 地元要望のある生活道路を主に、道路整備(50路線)	B	整備された生活道路の割合	100.0%	地元要望により事業を進めているため、実施にあたり事業に対する合意形成に時間を要する場合がある。	建設課	163,621	52,713	216,334
12	単独橋りょう整備事業 老朽化した橋りょうの架け替え・補修工事及び、地元要望のある生活道路の橋梁整備	B	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)	91.3%	主に、交付金事業を補充する事業 また、橋梁の架替え等大規模事業に着手する前段階の予備設計などを実施する。	建設課	3,748	0	3,748
13	交通安全対策事業(防災安全) 一級河川田川の奈良井川改良事務所による河川改修計画に合わせた、関連する渚橋(市道5520号線)の整備	A	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(事業費ベースでの進捗率)	100.0%	近年、国からの交付金の配分が少なく、事業費の確保が厳しい状況となっている。	建設課	35,826	759	36,585
14	橋りょう長寿命化事業(防災安全) 橋梁長寿命化事業 橋梁架替事業	B	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)	91.3%	近年、国からの交付金の配分が少なく、財源の確保が厳しい状況となっており、今後の事業の遅延が懸念される。 橋梁長寿命化修繕計画は、平成30年度に見直すこととなっているため、成果指標は平成30年度までとする。	建設課	289,916	22,391	312,307
15	過疎対策事業(橋りょう整備事業) 四賀地区(過疎対策地域)の橋りょう整備	B	緊急車両がスムーズに通行出来る様に整備(事業費ベースでの進捗率)	91.7%	損傷が激しい住民生活に必要な橋りょうであるため、早急な対応が必要である。	建設課	5,260	380	5,640
16	街路事業費(防災安全) 都市計画道路の整備	B	幹線道路の整備割合	98.7%	事業化までに期間を要し、着手後も事業費の確保等早期完了が厳しい状況である。 国費の種類について、内示率の良いものに変更できる事業は、変更する。	建設課	309,983	25,958	335,941
17	単独街路事業 都市計画道路の整備	B	幹線道路の整備割合	98.7%	単独街路事業は、街路事業を補充するもので、一体的なものであるため、事業の狙い、内容、成果指標等、両事業は共通である。 事業化までに期間を要し、着手後も事業費の確保等早期完了が厳しい状況である。 国費の種類について、内示率の良いものに変更できる事業は、変更する。	建設課	25,806	9,488	35,294
18	リフレッシュロード事業 やまびこ道路他5路線の整備	A	道路整備率(%) (年一億ベースの事業費目標に対する整備進捗率)	84.3%	従前の道路改良においては、車優先で整備が進められたため、歩行者や自転車への配慮が欠けている道路がある。 歩行者や自転車等のすべての利用者に優しい公共空間が必要である。	維持課	68,472	22,770	91,242
19	市道管理 市道認定事務(H29実績16件) 市道管理事務				関係法令に基づき適正な管理を行う必要がある。 道路用地登記等未処理事業については、所有権者の死亡等の場合相続が行われていないと境界立会や登記が困難である。 賠償件数が増加しているため、道路管理に瑕疵が生じないように市道バトルを強化する。また、道路情報通報アプリ等による危険個所の情報収集を行い補修対応を行う。	維持課	43,086	95,465	138,551

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	道路改良事業(社会資本)
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(社会資本)

<事業の狙い>

事業計画年度	21 ~ 33
--------	---------

市道7003号線を改良することにより、中環状線の2車線化を推進し、市街地と郊外との連絡性の向上を図るとともに、利用する市民の利便性と安全・安心を確保する。
また、中環状線と接続する南北幹線である市道5005号線を整備する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

国の交付金を活用した幹線道路整備事業として、中環状線である市道7003号線を整備、及び、それに関連する南北幹線、市道5005号線の整備

市道7003号線(島立)……………(H28繰越分:用地補償 C=13,775千円)
市道7003号線(島立)……………(工事(L=250m)、用地補償、補償算定
市道7003号線(島立)……………(H28繰越分:用地補償 C=125,462千円)
事業年度 H21~H32
事業量 L=1,040m W=15.0m
総事業費 C=1,264,931千円

市道5005号線(笹部4丁目)
事業年度 H26~H33
事業量 L=420m W=11.0m
総事業費 C=660,730千円

<現状に対する認識>

近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業の遅延が懸念される。

<指標の達成状況>	総合評価	B
-----------	------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保(事業費ベースでの進捗率)				
指標の設定理由	早期の効果発現のため事業進捗率を目標とする。				
目標値	13%	21%	21%	21%	21%
実績値	13%	21%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	258,916		139,237							
国・県	142,412		76,531							
利用者負担金										
その他										
一般財源	116,504		62,706							
人件費(千円)	5,768	人工	5,313	人工		人工		人工		人工
正規	5,768	0.75	5,313	0.7						
嘱託	0		0							
合計コスト +	264,684		144,550							
前年度比	-		54.6%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	道路改良事業(防災安全)
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(防災安全)

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち	主な取組み	生活道路の改善や親子が集う公園の整備	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >	事業計画年度	21 ~ 32
新たな歩道設置を含め道路整備を行うことで、利用する市民の利便性と安全・安心を確保する。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
国の交付金を活用した主要道路の歩行者の完全性確保のため、新たな歩道設置を含め2車線の道路整備
市道2522号線(巾上)……………(H28繰越分:工事(L=43m)、用地補償 C= 17,902千円)
事業年度 H22 ~ H28
事業量 L=43m W=10.0m
総事業費 C=195,000千円
市道波田98号線(波田(森口))……………(H28繰越分:工事(L=362m)、補償 C= 43,116千円)
事業年度 H20 ~ H31
事業量 L=2,037m W=9.5m
総事業費 C=703,751千円
市道5520号線(渚2丁目)
事業年度 H24 ~ H32
事業量 L=160m W=9.5m
総事業費 C=158,590千円
市道2181号線(浅間温泉2丁目)
事業年度 H28 ~ H32
事業量 L=320m W=9.5m
総事業費 C=290,690千円

< 現状に対する認識 >
近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業遅延が懸念させる。

< 指標の達成状況 >	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保(事業費ベースでの進捗率)				
指標の設定理由	早期の効果発現のため事業進捗率を目標とする。				
目標値	36%	40%	40%	40%	40%
実績値	39%	39%			
達成度	111.1%	97.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	68,378	61,018			
国・県	37,600	33,544			
利用者負担金					
その他	30,700	18,600			
一般財源	78	8,874			
人件費(千円)	13,073	人工 7,590	人工	人工	人工
正規	13,073	1.7	7,590	1	
嘱託	0	0			
合計コスト +	81,451	68,608			
前年度比	-	84.2%			

事務事業評価票

事務事業名	単独新設改良事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独新設改良事業

< 事業の狙い >

事業計画年度 S62 ~ 35

生活道路を改良することにより、主に地元町会の利用する市民等の安全・安心な生活環境を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地元要望のある生活道路を主に、道路整備(50路線)

H29実施

工事、用地補償、委託等 18路線 C=163,621千円
整備延長 6路線 L=665m

全体計画(実施計画第48号)

他事業関連 4路線……………(2路線)
中部縦貫自動車道関連(10箇所~)
国道19号関連 2路線
空港関連 4路線
生活道路一般 32路線……………(13路線)
交付金事業単独分 7路線……………(3路線)

< 現状に対する認識 >

地元要望により事業を進めているため、実施にあたり事業に対する合意形成に時間を要する場合がある。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価 B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	整備された生活道路の割合				
指標の設定理由	市民生活に密着した生活道路の整備進捗(整備割合)を指標とする。				
目標値	37.7%	40%	48%	56%	63%
実績値	37.7%	40%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	175,252		163,621							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	175,252		163,621							
人件費(千円)	48,434	人工	52,713	人工		人工		人工		人工
正規	47,294	6.15	48,956	6.45						
嘱託	1,140	0.4	3,757	1.3						
合計コスト +	223,686		216,334		0		0		0	
前年度比	-		96.7%		0.0%		#DIV/0!		#DIV/0!	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	リフレッシュロード事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	リフレッシュロード事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

28~32

流通及び生活に密着した幹線道路をより心地よく、より使いやすくするため、舗装補修だけでなく、植栽・歩道・道路付属施設などを総合的に整備する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

やまびこ道路他5路線の整備 車道: 舗装補修、側溝補修、区画線設置、交通安全施設補修 植樹帯: 街路樹剪定、街路樹補植 歩道: 舗装補修、縁石補修
--

<現状に対する認識>

従前の道路改良においては、車優先で整備が進められたため、歩行者や自転車への配慮が欠けている道路がある。歩行者や自転車等のすべての利用者に優しい公共空間が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	道路整備率(%) (年一億ベースの事業費目標に対する整備進捗率)				
指標の設定理由	(年一億ベースの事業費目標に対する整備進捗率)				
目標値	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
実績値	20	33.7			
達成度	100.0%	84.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	99,988		68,472							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	99,988		68,472							
人件費(千円)	23,070	人工	22,770	人工		人工		人工		人工
正規	23,070	3	22,770	3						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	123,058		91,242							
前年度比	-		74.1%							

事務事業評価票

事務事業名	緑対策
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	緑対策費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H26 ~

街中の緑を守り、緑化活動を推進するため、様々な事業を実施しながら、市民に緑化活動の意義を啓発し、緑化に対する意識を高めていくもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 地区、町会、育成ボランティア団体への緑化木等の配布
- 2 市指定保存樹維持管理事業補助金制度の活用、周知
保存樹木1本につき補助率50%、補助金額上限25万円(申請件数7件)
- 3 市街地緑化推進イベントの開催(10月)
コンテナガーデン講習会、葉に触れ合う講習会、花いっぱい運動についての展示
- 4 松本市緑化推進委員協議会への支援、協力
(委員数109名、総会1回、幹事会4回、春・秋講習会、春・秋花苗配布)
- 5 樹勢相談、緑陰講座の開催
(樹勢相談19件、緑陰講座9回・90人参加)

< 現状に対する認識 >

・市指定保存樹維持管理事業補助金(交付要綱:平成28年9月21日告示)は目標値を達成しているため、次年度以降も目標値に近い数字となるよう、所有者に周知が必要である。
・花いっぱい運動と関連づけた緑化活動を実施していくことが必要である。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり	
松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	市指定保存樹維持管理事業補助金予算執行率				
指標の設定理由	年間通しての補助金事業の状況から市内の緑化の数値が把握できるため				
目標値(千円)	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
実績値(千円)	548	1,345			
達成度	43.8%	107.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	9,817		8,948				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	9,817		8,948				
人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工		人工	
正規	4,614	0.6	4,554	0.6			
嘱託							
合計コスト +	14,431		13,502				
前年度比	-		93.6%				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独アルプス公園整備事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独アルプス公園整備事業費

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >	事業計画年度	H28 ~ H35
心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、総合公園であるアルプス公園の施設整備及び松くい虫による被害木の整備を行うもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >	
1	施設の改築・更新 ・マレットゴルフ場改修 1式 ・木製デッキ撤去 1式 ・デッキ手摺更新 1式 ・水道施設防護ルーフ設置 1式
2	旧まきば山荘管理地の施設整備 (展望広場設置 一式)
3	松くい虫被害木の除去(森林整備) (松本市ドリームコースター施設内他伐倒処理 182本)

< 現状に対する認識 >	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園が求められている。 ・公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、早急な対策が必要となっている。 ・松くい虫被害が急速に広まり公園内の施設に影響を及ぼす恐れがある。 ・松くい虫被害木の除去を計画的に実施する予定であるため、今後、除去を実施した箇所再整備について検討する。 	

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	アルプス公園の施設整備費率				
指標の設定理由	公園施設の整備状況が直接的に把握できるため				
目標値	3.83%	35.69%	54.46%	69.46%	93.62%
実績値	3.86%	35.60%			
達成度	100.8%	99.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	3,459	28,693			
国・県					
利用者負担金					
その他		15,600			
一般財源	3,459	13,093			
人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	
嘱託	0		0		
合計コスト +	8,073	33,247			
前年度比	-	411.8%			

事務事業評価票

事務事業名	公園施設長寿命化事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	公園施設長寿命化事業費

< 事業の狙い >	事業計画年度	H26～H36
既存都市公園施設の老朽化が進んでいる状況で、維持管理におけるライフサイクルコストの軽減が求められているため、老朽化した施設の改築・更新を計画的に行うもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
改築・更新工事の実施 策定した長寿命化計画に基づき、施設改築・更新工事を16公園実施

< 現状に対する認識 >
公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、早急な対策が必要となっている。長寿命化計画未策定公園(160公園中40公園)についても、今後の維持管理を計画的に実施する必要がある。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	5		将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	公園施設の改築・更新の必要な公園数				
指標の設定理由	公園施設の維持管理の状況が直接的に把握できるため				
目標値	70	55	40	31	22
実績値	70	55			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	60,009	40,003			
国・県	30,000	20,000			
利用者負担金					
その他					
一般財源	30,009	20,003			
人件費(千円)	4,614	4,554			
正規	4,614	4,554			
嘱託	0	0			
合計コスト +	64,623	44,557			
前年度比	-	68.9%			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独公園整備事業
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独公園整備事業費

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	主な取組み			生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	5		将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >	事業計画年度	H28 ~ H34
心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、都市公園の整備、補植等による緑の再整備及び都市計画法第33条により生み出された未整備緑地の整備を行うもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >	
1	都市公園及び開発行為緑地の整備 既存の都市公園の再整備と未整備となっている開発行為緑地の整備 (都市公園19件、開発行為緑地3件)
2	緑の再整備 既存施設の緑地帯等に植栽木を補植 (3件)

< 現状に対する認識 >
公園施設は樹木の老木化及び遊具の老朽化が進んでいるため、早急な対策が必要となっている。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	総事業費の公園整備率				
指標の設定理由	公園施設の整備状況が直接的に把握できるため				
目標値	8.59%	16.66%	32.54%	51.38%	70.57%
実績値	8.82%	16.85%			
達成度	102.7%	101.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >										
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	20,314		18,990							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	20,314		18,990							
人件費(千円)	9,228	人工	9,108	人工		人工		人工		人工
正規	9,228	1.2	9,108	1.2						
嘱託	0		0							
合計コスト +	29,542		28,098							
前年度比	-		95.1%							

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	4 - 3 - 2	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	景観維持、保全の推進	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	3.15	6.9%

事業名 主な事業	総合 評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千 円)	人件費 (単位:千 円)	コスト合計 + (単位:千 円)
1 寿赤木地区維持管理 ・農業集落排水処理施設の維持管理全般	A	農業集落排水処理施設使用 戸数	100.7%	施設は平成元年に供用開始のため、施設の老朽化が進んでいる。このため、平成31年度に公共下水道両島処理区へ統合する予定	耕地林務課	5,613	3,036	8,649
2 安曇地区維持管理 ・農業集落排水処理施設維持管理業務 ・農業集落排水処理施設計画概要書作成	A	放流水が水質基準に適合し ている割合	100.0%	島々(H8)、大野田(H10)、稲核(H12)と設置以来16年以上が経過し、施設の劣化が進んでいる。ポンプ類や計装類は日常の点検や修理等により正常に機能しているが、更新時期を迎えた機器が多い。	西部農林課	24,406	2,855	27,261
3 小規模集合排水施設維持管理 ・野沢小規模集合排水処理施設の維持管理業務	A	放流水が水質基準に適合し ている割合	100.0%	また、汚水処理槽のコンクリートの劣化が進んでおり、対策工事が必要 島々(H8)、大野田(H10)、稲核(H12)と設置以来16年以上が経過し、施設の劣化が進んでいる。ポンプ類や計装類は日常の点検や修理等により正常に機能しているが、更新時期を迎えた機器が多い。	西部農林課	698	1,048	1,746
4 都市計画策定事業 (空き家対策) ・まち中リアルアクション推進事業により空き家見学会の開催 ・都市政策課に総合窓口を設置し、関係部署との連携により、空き家等対策計画の策定を進める。		歴史・伝統が感じられる松本 らしい景観が保たれていると 思う市民の割合		空き家・空き地が増加している中で、実態が把握を進める。空き家等対策計画を策定し、庁内関連部署との連携により、総合的な対策を推進する。	都市政策課	0	2,581	2,581
5 景観形成事業 (屋外広告物条例の推進) ・景観の重要な構成要素である屋外広告物の適正表示と良好な景観形成への誘導を図るため、許可物件の許可事務及び違反対応を行うもの。		歴史・伝統が感じられる松本 らしい景観が保たれている (市民満足度)		事務量が增大しており、これ以上の対応は難しい。特に違反対応については多くの人手と時間、経費が必要対応人員を増加するか、事務の抜本的見直しが必要中核市移行の際には制度設計を見直す必要がある。	都市政策課	86	11,236	11,322
6 景観形成事業 (景観計画の推進) ・良好な景観形成を図るため、景観計画で定めた行為の制限事項について、必要な届け出の審査に係る事務・指導・助言を行い、景観計画の周知や内容の検討・研究をする。		歴史・伝統が感じられる松本 らしい景観が保たれている (市民満足度)		景観計画策定後10年が経過しようとしているが、計画にPDCAサイクルが含まれていないため、適切な見直しの設定が必要	都市政策課	435	8,653	9,088
7 景観形成事業 (公共案内サイン整備事業) ・公共案内サイン整備事業		歴史・伝統が感じられる松本 らしい景観が保たれている (市民満足度)		海外からの観光客のみならず、住民を含んだ来街者全体に必要な情報を提供する位置づけを強化する必要がある。独自サインや名称の多言語化等共有すべき情報が多く、周知が必要。	都市政策課	4,028	828	4,856
8 景観形成事業 (松本市景観賞実施事業) ・松本市景観賞実施事業		歴史・伝統が感じられる松本 らしい景観が保たれている (市民満足度)		事業開始後30年が経過し、新たな手法を試行している。	都市政策課	675	3,719	4,394
9 景観形成事業費 (歴史まちづくり事業) ・歴史まちづくり事業 計画進捗管理		歴史・伝統が感じられる松本 らしい景観が保たれている (市民満足度)		独自事業と計画進捗管理とで業務内容に大きな違いがある。独自事業にあたっては、文化財課の進める歴史文化基本構想との相関を整理する必要がある。計画進捗管理にあたって、庁内横断的なプロジェクト進行を促す必要がある。平成32年度に計画期間が満了するため、今後二期計画について国及び庁内の調整を図る必要がある。	都市政策課	185	5,432	5,617

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業(空き家対策)
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 事業の狙い >

事業計画年度	
--------	--

住宅マスタープランの実現化に向けた住宅・宅地ストックの活用と流通の促進及び管理不適切な空き家の集積により悪化する居住環境の改善を図るため、空き家活用リストを作成し、今後の空き家対策事業の基礎資料とする。窓口統一により、関係部署との連携を深め対策を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

長野県事業である、まち中リノベーション推進事業により空き家見学会の開催。

都市政策課に総合窓口を設置し、関係部署との連携により、空き家等対策計画の策定を進める。

< 現状に対する認識 >

空き家・空き地が増加している中で、実態が把握を進める。空き家等対策計画を策定し、庁内関連部署との連携により、総合的な対策を推進する。

< 指標の達成状況 >		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれていると思う市民の割合					
指標の設定理由	まちなみにそぐわない空き家等の整理・利活用を促進するため。					
目標値	80.8	80.8	80.8	80.8	80.8	
実績値	80.8	-				
達成度	100.0%					
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		0							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	846	人工	2,581	人工		人工		人工		人工
正規	846	0.11	2,581	0.34						
嘱託	0		0							
合計コスト +	846		2,581							
前年度比	-		305.1%							

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業(屋外広告物条例の推進)
-------	--------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本の良好な景観の保全や誘導を行うため

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

景観の重要な構成要素である屋外広告物の適正表示と良好な景観形成への誘導を図るため、許可物件の許可事務及び違反対応を行うもの。
 ・許可申請数
 (H28許可実績 262件)
 (H29許可実績 436件)
 申請数のため、目標設定は不適切

< 現状に対する認識 >

事務量が增大しており、これ以上の対応は難しい。
 特に違反対応については多くの人手と時間、経費が必要
 対応人員を増加するか、事務の抜本的見直しが必要。
 中核市移行の際には制度設計を見直す必要がある。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	71.70%	調査年度ではないため実績値なし			
達成度	102%	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		86							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			86							
人件費(千円)	3,789	人工	11,236	人工		人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	9,791	1.29						
嘱託	713	0.25	1,445	0.5						
合計コスト +	3,789		11,322							
前年度比	-		298.9%							

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業(景観計画の推進)
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本の良好な景観の保全や誘導を行うため、景観計画に基づき事業を推進するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

良好な景観形成を図るため、景観計画で定めた行為の制限事項について、必要な届け出の審査に係る事務・指導・助言を行い、景観計画の周知や内容の検討・研究をする。
平成29年度は部会を設置し、集中的に景観討議を行った。また、景観事前協議制度を開始した。

(景観審議会・評価会・調整)
・景観計画に基づく届出
(H28実績 207件)
(H28実績 172件)

< 現状に対する認識 >

景観計画策定後10年が経過しようとしているが、計画にPDCAサイクルが含まれていないため、適切な見直しの設定が必要

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	71.70%	調査年度ではないため実績値なし			
達成度	102%	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	289		435							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	289		435							
人件費(千円)	6,460	人工	8,653	人工		人工		人工		人工
正規	6,460	0.84	8,653	1.14						
嘱託	0		0							
合計コスト +	6,749		9,088							
前年度比	-		134.7%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業費(公共案内サイン整備事業)
-------	----------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標 4 暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略 コンパクトな都市と賑わいの創出

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

公共により市街地に案内サインを設置することで、観光客を含む来街者すべてにおもてなしの心を伝えるとともに松本の良好な景観の保全や誘導を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

・公共案内サイン整備事業
 平成15年に「松本市公共案内サイン基本計画」を策定しています。これに基づき、多様な市民や来訪者が安心して目的地を目指すようユニバーサルデザインに沿った案内サインへと改良し、回遊性を高め中心市街地の活性化を図るもの。
 ・H28は庁内調整の上、施設の外国語表記について検討を行った。
 ・H29は市内に設置したサインの更新を行い、表示面の刷新、設置ヶ所の修正等をおこなった。今後は5年に一度定期的に整備を行う。

< 現状に対する認識 >

海外からの観光客のみならず、住民を含んだ来街者全体に必要な情報を提供する位置づけを強化する必要がある。
 独自サインや名称の多言語化等共有すべき情報が多く、周知が必要。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	71.7%(3.15)	-			
達成度			0.0%	0.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		4,028		0		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		4,028							
人件費(千円)	912	人工	828	人工	0	人工	0	人工	0	人工
正規	769	0.1	683	0.09	0		0		0	
嘱託	143	0.05	145	0.05	0		0		0	
合計コスト +	912		4,856		0		0		0	
前年度比	-		532.7%		0.0%					

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	6 - 1 - 2	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	学校環境の整備・充実	小中学校で充実した教育が受けられる(教育環境が整っている)	3.16	34.0%

事業名 主な事業	総合 評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千 円)	人件費 (単位:千 円)	コスト合計 + (単位:千 円)
1 美ヶ原少年自然の家管理 ・小学校5学年キャンプでの宿泊利用 ・一般団体への貸出	B	利用者数(人) 施設利用率 (利用日数/開館日数)	76.9% 96.3%	SNS等による情報で、県外からの利用者が増加している。市内利用者が8月以降は少ないため、公民館等と連携して市民への認知、利用を拡大していきたい。	学校教育課	3,343	3,649	6,992
2 教職員住宅管理 ・教職員住宅の維持・補修 ・空き家となった敷地の維持管理	B	入居戸数(戸) 入居率 (入居戸数/全戸数)	77.4% 77.4%	安曇・奈川の需要のある住宅は改修をして住みやすい環境を提供する必要がある。 入居の見込めない住宅については、解体後、積極的に売却を進める。	学校教育課	56,791	3,036	59,827
3 学校営繕(小学校) ・学校施設の整備及び保守。	A			児童のため、環境改善を図ることを目的とし、限られた予算のなかで効果的な事業実施がおこなわれている。	学校教育課	70,136	380	70,516
4 授業用校用備品充実整備(小学校) ・授業用消耗品購入 ・学校用備品購入				学校配当予算により各学校の判断で必要な教材備品・校用備品を計画的に購入。 ピアノ、印刷機、カーテンについては計画的に更新。 ICT機器については概ね5年ごとに更新。 教育指導要領の改訂に対応できるICT機器の導入を検討する必要がある。	学校教育課	244,763	3,036	247,799
5 芝沢小大規模改造事業 ・屋根改修、床改修、外断熱化、太陽光発電設備設置、受水槽等の更新、給排水設備の更新、受電設備の更新等を行う	A	本事業の整備率	100.0%	大規模改造事業は平成29年度で終了し、今後は国の方針に沿い、長寿命化改良事業へ転換していく。	学校教育課	239,003	759	239,762
6 並柳小学校大規模改造事業 ・屋根改修、床改修、外断熱化、窓断熱化、受水槽等の更新、給排水設備の更新、受電施設の更新等を行うもの。	A	本事業の整備率	100.0%	大規模改造事業は平成29年度で終了し、今後は国の方針に沿い、長寿命化改良事業へ転換していく。	学校教育課	219,710	759	220,469
7 学校施設整備事業 (小学校費+中学校費) ・清水小学校北側農道拡幅 ・岡田小学校用地取得				施設の状況及び重要度により、順位付けを行い、順次対応している。	学校教育課	58,865	1,518	60,383
8 地震防災緊急事業(小学校) ・体育館アリーナ吊り天井耐震化(H28完了) ・非構造部材の耐震化	A	本事業の整備率 (事業費ベースによる)	100.0%	尊い子どもたちの生命を守るため、安全安心な教育環境の整備として学校施設の耐震化を進める。	学校教育課	12,484	759	13,243
9 暖房機更新事業 ・小中学校FF式暖房機の更新	A	暖房機の更新率(%)	100.0%	計画通りに更新ができています。	学校教育課	20,963	1,518	22,481

事務事業評価票

事務事業名	地震防災緊急事業(小学校)
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地震防災緊急事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度 H28 ~ H32

安全安心な教育環境を整備するため、教室等の非構造部材の耐震化、避難施設としての防災設備の整備などを行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 体育館アリーナ吊り天井耐震化(H28完了)
建築基準法の新基準(H26.4施行)に不適合な施設の改修
- 2 非構造部材の耐震化
体育館・教室等の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事
(体育館:H28完了)
- 3 防災機能強化
避難施設としての防災設備の整備
- 4 中間教室施設の耐震化
中間教室あずさの家の解体(H29完了)

< 現状に対する認識 >

尊い子どもたちの生命を守るため、安全安心な教育環境の整備として学校施設の耐震化を進める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	本事業の整備率(事業費ベースによる)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	4%	7%	51%	96%	100%
実績値	4%	7%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	52,209		12,484							
国・県	15,971		0							
利用者負担金										
その他										
一般財源	36,238		12,484							
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1		0.1		0.1		0.1
嘱託	0		0							
合計コスト +	52,978		13,243							
前年度比	-		25.0%							

事務事業評価票

事務事業名	地震防災緊急事業(中学校)
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地震防災緊急事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度 H28～H31

安全安心な教育環境を整備するため、教室等の非構造部材の耐震化、避難施設としての防災設備の整備などを行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 体育館アリーナ吊り天井耐震化(H28完了)
建築基準法の新基準(H26.4施行)に不適合な施設の改修
- 2 非構造部材の耐震化
体育館・教室等の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事
(体育館:H28完了)
- 3 防災機能強化
避難施設としての防災設備の整備
- 4 中間教室施設の耐震化
中間教室あずさの家の解体

< 現状に対する認識 >

尊い子どもたちの生命を守るため、安全安心な教育環境の整備として学校施設の耐震化を進める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	本事業の整備率(事業費ベースによる)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	4%	7%	51%	96%	100
実績値	4%	7%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	4,114		4,320							
国・県	0		0							
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,114		4,320							
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0		0							
合計コスト +	4,883		5,079							
前年度比	-		104.0%							

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校施設長寿命化改良事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校施設長寿命化改良事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28 ~

国のインフラ長寿命化計画の策定を受け、学校施設についても大規模改造～延命へ転換し、築40年以上経過した施設を今後30年以上使用するため、構造体の耐久化とインフラ設備の更新を行うもの。また、建物の延命化により、建物更新時に係る費用の平準化を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 劣化度調査
建物の劣化の状態を調査し、事業実施の判断を行う。また、工事の概算工事費の算出をおこなう。
- 実施設計
劣化度調査をもとに、長寿命化改良工事の実施設計をおこなう。
- 工事
長寿命化改良工事の実施(工期 2年～3年)
- H29実績
劣化度調査を中学校1校で実施

<現状に対する認識>

施設の劣化の状況を判断し、計画的に進める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業の整備率(完了棟数/予定棟数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	0%	0%	3.90%	11.70%	13.40%
実績値	0%	0%			
達成度	-	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	35,802		8,532							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,802		8,532							
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0		0							
合計コスト +	36,571		9,291							
前年度比	-		25.4%							

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	6 - 2 - 2	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	社会教育環境の整備	様々な学びや趣味を気軽に行える施設が充実している	2.75	24.3%

事業名 主な事業	総合評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千円)	人件費 (単位:千円)	コスト合計 + (単位:千円)
1 駅前会館管理 館の会議室等の貸出しを行う、 施設の維持	A	施設利用率(%)	103.4%	昭和62年建築で、建物及び設備の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要な状況にある。 企業の会議等での利用が大半を占め、社会教育施設としての利用は少ない。 第一地区の指定避難所及び指定緊急避難所であり、災害時の安全性の向上を図る必要がある。	行政管理課	12,362	1,518	13,880
2 浅間温泉文化センター管理 館の会議室等の貸出しを行う、 施設の維持	A	施設の利用率 (%)	90.0%	本郷村建設、昭和50年竣工、平成11年改修工事をしているが、廊下等のタイルは建設当時のままであり、老朽化している。 本郷地区の指定避難所及び指定緊急避難場所であり、災害時の安全性の向上を図る必要がある。	行政管理課	14,264	1,518	15,782
3 旧文書館解体事業 旧文書館解体事業				老朽化が進んでいるため解体工事を実施 跡地を隣接する芝沢体育館及び芝沢運動広場の駐車場として有効利用	行政管理課	21,094	0	21,094
4 補助金 (専修学校各種学校連合会補助金等) 専修学校各種学校連合会補助金 町内公民館整備補助金	A	専修学校・各種学校所属職員対象の研修会参加者数	128.0%	町会から補助内容拡充についての要望が寄せられているため、要綱の改正等について検討し、改善に努める。	生涯学習課	29,825	3,036	32,861
5 百竹亭管理 指定管理者の指定・管理委託 樹木剪定等業務委託	B	延利用者数(現状維持) 施設の利用率 (利用日数/開館日数) (現状維持)	82.6% 95.7%	建物と庭園の一部に老朽化が見られるが、管理運営費に見合う効果が上がっていないため、今後の施設のあり方を検討するとともに、それに見合った施設の整備が必要。 文化財としての価値(登録有形文化財の申請等)を検討しつつ、松本城から旧開智学校への動線など、歴史文化資源を活かしたまちづくりに百竹亭を有機的に生かす方法を考える必要がある。	生涯学習課	6,011	759	6,770
6 ふれあいパーク乗鞍管理運営 指定管理者の指定・管理委託	A	延利用者数(現状維持)	125.6%	立地上利用者が限られるが、乗鞍が安曇基幹集落センターから車で30分かかるため地域の公民館的施設として利用されている。現状の稼働を維持しつつ、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしていくため、高齢化・人口減少が進む地域性について考慮し、例えば地域の商工観光部門との連携等、幅広い視点から住民の利用促進がなされる方を検討する必要がある。	生涯学習課	1,986	759	2,745
7 公民館管理運営 備品等修繕・営繕工事の実施 業務委託	A	公民館延利用者数 (前年度実績1%増) 公民館利用件数 (前年度実績1%増)	87.2% 95.6%	市民の学習要望は年々多様化しており、的確なニーズの把握とそれに応じた学習環境の整備について、研究・検討を進める必要がある。 また、施設の老朽化に伴う暖房等の空調設備や会議室の机・椅子等の修繕・更新など、市民が不便なく施設利用できるように維持管理や環境整備が必要である。	生涯学習課	277,344	14,669	292,013
8 地区公民館整備事業 ・H24～25 移転検討委員会の設置等、地元との協議を実施 ・H26 基本設計を実施	A	事業進捗率 (事業費ベース)	100.0%	現在まで、計画通りの事業進捗であり、平成29年7月に移転後公民館のリニューアルオープンを実現した。平成30年度も同様の進捗により、事業の完遂を目指す。	生涯学習課	201,703	3,036	204,739
9 地区公民館大規模改修事業 施設の耐久性確保・機能維持 ユニバーサルデザイン導入 エコ改修	A	地区公民館の大規模改修 実施件数	100.0%	年度毎1件の大規模改修、複数件の備品更新・設備更新等を実施しており、今後も同水準以上を継続する必要がある。 実施計画47号より、松本市公共施設等総合管理計画に基づいて長寿命化計画を導入し、平成30年度より一部実施を予定している。以後は、松本市公共施設等総合管理計画、松本市公共施設再配置計画をもとに、地区公民館整備方針を見直し、新たな計画を作成する必要がある。	生涯学習課	191,167	4,023	195,190

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地区公民館大規模改修事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地区公民館大規模改修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H16~
--------	------

地区公民館整備方針に基づき、大規模改修、備品更新等を実施し、計画的な施設改修、設備更新等を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 事業開始年次より、計画的な施設改修・設備更新等を実施し、地域活動、社会教育活動等における拠点としての公民館の機能維持、ユニバーサルデザイン導入その他に裨益している。
- 下記の3要素を事業の主目標として、実施各館で実現している。
 - 施設の耐久性確保・機能維持・・・屋根、外壁、内装の改修等
 - ユニバーサルデザイン導入・・・エレベーター設置、トイレ改修等
 - エコ改修・・・太陽光発電設備の設置、サッシ複層化等
- 平成29年度までの実績
 - 大規模改修 8件を実施(入山辺、安曇、梓川、神林、鎌田地区、今井、内田、笹賀)
 - 暖房器具更新 3件を実施
 - 冷房設備保守点検 10件を実施 30年度より経常的経費へ移行
- 平成29年度の実績
 - 大規模改修実施設計 1件(和田)
 - 大規模改修工事 1件(笹賀)
 - その他 大規模改修に伴う備品更新、施設環境調査等

<現状に対する認識>

年度毎1件の大規模改修、複数件の備品更新・設備更新等を実施しており、今後も同水準以上を継続する必要がある。
 実施計画47号より、松本市公共施設等総合管理計画に基づいて長寿命化計画を導入し、平成30年度より一部実施を予定している。以後は、松本市公共施設等総合管理計画、松本市公共施設再配置計画をもとに、地区公民館整備方針を見直し、新たな計画を作成する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地区公民館の大規模改修実施件数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	7	8	9	9	9
実績値	7	8			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	117,670		191,167							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	117,670		191,167							
人件費(千円)	4,076	人工	4,023	人工		人工		人工		人工
正規	4,076	0.53	4,023	0.53						
嘱託	0		0							
合計コスト +	121,746		195,190							
前年度比	-		160.3%							

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	6 - 4 - 1	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	歴史・文化資産保護・活用の推進	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	3.04	17.9%

事業名 主な事業	総合評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千円)	人件費 (単位:千円)	コスト合計 + (単位:千円)
1 文書館管理運営 文書の収集、整理及び保存 文書の閲覧及び複写	A	講座等の利用者数	87.9%	専門性の高い施設であるため、利用者が限られる傾向にあるが、「文書館講座」、「子ども講座」、「親子平和教室」の開催により、幅広い年齢層の利用促進を図るとともに、歴史的に重要な文書、資料の保存に努める。	行政管理課	9,193	13,370	22,563
2 文化財保存管理事業 文化財の指定・登録 指定等文化財の保存管理	A	市内の指定・登録等文化財件数 市内の指定・登録等文化財件数(新規指定・登録件数)	98.8% 99.7%	豊かな自然と長い歴史から本市には多くの文化財が継承されてきたが、社会環境の変化で文化財を取り巻く環境は厳しさを増している。 文化財の適切・計画的な保存管理を行うとともに、更なる文化財指定と、所有者の文化財保護活動に対する支援を充実させる必要がある。	文化財課	18,175	22,121	40,296
3 埋蔵文化財保護事業 開発事業に伴う窓口照会事業 試掘調査事業				市内には多くの遺跡がある。近年は大規模調査に加え、都市計画道路内環状北線に関わる発掘調査が本格化している。 限られた経費と期間内で最大の成果を上げられるよう、調査技術の継承を含め、職員の実質向上を図る必要がある。成果を積極的に市民公開し、郷土の歴史・文化への関心が高まるよう努力が必要である。	文化財課	70,960	68,708	139,668
4 殿村遺跡史跡整備事業 殿村遺跡発掘調査 虚空蔵山麓の総合調査	A	事業全体の進捗率 (事業費ベース、%)	100.0%	計画どおり進行し平成29年度で発掘調査が終了したが、総括に時間を要するため事業最終年度を平成31年度まで延長し、将来的な史跡指定に向けての条件整備に取り組む。	文化財課	10,322	2	10,324
5 エリ穴遺跡遺物整理・報告書刊行事業 発掘調査に伴う遺構図類・出土遺物の整理事業 調査報告書の刊行事業	A	調査報告書の進捗状況 (事業費ベース)	100.0%	報告書の刊行は計画どおり進んでいるが、遺構図・資料の点数が当初見込みより増加したため、より効率的に整理する必要がある。 平成30年度に刊行する第4分冊はエリ穴遺跡全体の評価と考察を掲載するため、国重要文化財指定に資する内容が求められる。引き続き県教育委員会や研究者の指導を受けながら事業を進める。	文化財課	4,140	20,972	25,112
6 歴史文化基本構想策定事業 文化財調査及び関連文化財群の設定(H29) 構想の策定(H29)				各地域の文化財を網羅し、住民の意見を反映させた基本構想を策定することができた。 地域主体で文化財調査を行なったことで、調査成果の活用する動きと文化財を地域で保護する気運が高まりつつある。 構想策定以降は、関連文化財群の市民への周知と、構想に基づく具体的保存活用の方策を検討する必要がある。	文化財課	963	7,590	8,553
7 小笠原氏城館群史跡整備事業 3城跡の国史跡指定に向けた調査・報告書刊行 3城跡の国史跡指定手続き	A	用地取得を除く事業の進捗率 (事業費ベース、%) 全体事業の進捗率 (事業費ベース、%)	100.0% 100.0%	計画どおり、平成28年度に2城跡が指定となったが、井川城跡は計画範囲の60%にとどまっているため、林小城とともに継続して平成30年度の追加指定に取り組む必要がある。	文化財課	110,290	3	110,293
8 白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画策定事業 噴湯丘と球状石灰石 分布調査 地質等調査 文献調査				分布調査の結果、石灰華の堆積厚は30mにも及ぶ国内有数の規模であり、本文化財の本質的価値を成すことが明らかになった。 これら石灰華の分布域は、当初の指定範囲と一致しておらず、指定範囲の見直しが必要である。 石灰華のほか、地形・地質・動植物・歴史などを含めた白骨温泉の文化財的な価値を再評価し、広く発信する必要がある。	文化財課	6,344	7,690	14,034
9 博物館事業 博物館資料の収集・保管業務 常設展、特別展・企画展の実施	A	観覧者数(分館13館) 資料・図書登録	108.9% 101.9%	松本まるごと博物館として、本館・分館で多様な市民ニーズに答える展覧会・講座・講演会を今後も実施していくとともに、未登録の博物館資料が多いため、基幹博物館の建設に向け、資料整理・登録作業の推進が課題である。	博物館	33,473	63,105	96,578

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	歴史文化基本構想策定事業
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	歴史文化基本構想策定事業

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	'三ガク都'で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標			
			松本版総合戦略			

< 事業の狙い >	事業計画年度	25~30
地域の文化財をその周辺環境まで含め総合的に保存・活用していくための計画を策定します。市内の文化財を指定の有無にかかわらず調査し、関連文化財群として把握することで、今後、歴史文化を生かしたまちづくりを進めていくためのマスタープランとなるもの。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
1 文化財悉皆調査及び関連文化財群の設定(平成28年度まで) (1)平成25年から市内35地区で未指定を含めた文化財調査を実施した。 (2)調査成果を先行の文化財調査を含めて整理し、平成27年度までに「関連文化財群」を設定した。 (3)平成28年度に、設定された関連文化財群を更に整理・統合した。
2 構想の策定(平成29年度) (1)3回の関連文化財群設定委員会等で検討し、構想を策定した。 (2)構想はパブリックコメントを実施し市民の意見を反映させた。 (3)関連文化財群紹介ハンドブックを作成して地区公民館、関係者に配布した。
3 市民への周知、シンポジウム・報告会の開催 (1)平成29年度に4回目の市民向け報告会を開催した。 (2)平成30年度は構想策定後のシンポジウムを開催。
4 構想に基づく具体的施策の検討 (1)平成30年度に(仮)まつもと文化遺産保存活用協議会を設置。 (2)協議会において構想に基づいた具体的方策を検討。

< 現状に対する認識 >
1 各地域の文化財を網羅し、住民の意見を反映させた基本構想を策定することができた。
2 地域主体で文化財調査を行なったことで、調査成果の活用する動きと文化財を地域で保護する気運が高まりつつある。
3 構想策定以降は、関連文化財群の市民への周知と、構想に基づく具体的保存活用の方策を検討する必要がある。

< 指標の達成状況 >	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由	構想策定のため目標値設定は不適当				
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	国・県	890	963			
	利用者負担金	838	917			
	その他					
	一般財源	52	46			
人件費(千円)	人工	7,690	7,590			
	正規	7,690	1	7,590	1	
	嘱託	0	0	0		
合計コスト +	8,580	8,553				
前年度比	-	99.7%				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	まる博構想推進事業
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	まる博構想推進事業費

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進		5つの重点目標	
				松本版総合戦略	

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
平成12年度に策定した松本まるごと博物館構想に基づき、博物館が市民協働や博物館連携事業を実施することにより、学びを通じた「ひとづくり」「まちづくり」を推進する。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
1 まる博deウォーキング事業 博物館と市民学芸員の会が協働して作成した松本城下町の文化遺産を巡るウォーキングマップを使用し、一般市民を公募したウォーキングを実施。 (1) 事業名 まる博deウォーキング (2) 実施日 平成30年3月24日(土) (3) 参加者 15名
2 松本藩領ミュージアム事業 平成26年度から実施している中信地区を対象範囲とする広域連携事業として、講演会を開催。 (1) 事業名 松本藩領ミュージアム講演会 (2) 内容 「菅江真澄と松本平の民俗」 中原文彦氏(本洗馬歴史の里資料館指導員)、倉石あつ子氏(豊科郷土博物館新市立博物館準備室職員) (3) 実施日 平成30年3月11日(日) (4) 参加者 59名
3 博物館連携事業 (1) 「郷土の刀剣展」 ア 会期 平成29年4月29日(土)~6月4日(日) イ 連携先 松本博物館友の会「松本の郷土刀研究部会」 ウ 入館者数 29,336人 (2) 姉妹館交流30周年記念特別展「旧開明学校校舎収蔵品展」 ア 会期 平成29年10月6日(金)から12月6日(水) イ 連携先 愛媛県西予市旧開明学校校舎 ウ 入館者数 17,660人

< 現状に対する認識 >
市民が気軽に参加したり、地域の文化資産を身近に感じられるような学習支援事業が少なく、市民の学習要望に応えられていないため、市民学芸員活動を中心に引き続き市民協働事業を推進していく。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	観覧者数(分館13館)				
指標の設定理由	博物館事業に対する市民の関心を具体的に測定できるため				
目標値	230,000	231,250	232,500	233,750	235,000
実績値	227,769	251,748			
達成度	99.0%	108.9%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	国・県	305	1,911			
	利用者負担金					
	その他		558			
	一般財源	305	1,353			
人件費(千円)	人工	11,992	11,894			
	正規	9,997	1.3	9,867	1.3	
	嘱託	1,995	0.7	2,027	0.7	
合計コスト +		12,297	13,805			
前年度比		-	112.3%			

行政評価 事務事業一覧表

基本施策	6-4-2	市民満足度調査結果	平均値	回答保留
	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	2.94	21.3%

事業名 主な事業	総合 評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千 円)	人件費 (単位:千 円)	コスト合計 + (単位:千 円)
1 松本城世界遺産推進事業 ・松本城世界遺産調査研究事業 ・松本城世界遺産普及啓発事業	A	世界遺産推進事業に 参加した人数の割合	189.8%	平成18年及び19年の文化庁による世界文化遺産暫定一覧表記載資産候補の公募から10年が経過するなかで、今後数年以内の再公募を見据えて準備を進める。	文化振興課	13,280	15,180	28,460
2 都市計画策定事業 (都市再生整備計画・松本城三の丸物語) ・松本駅を中心とした都市再生整備計画策定に向けた協議	A	エリア内歩行者交通量(6月 第1日曜10時～19時)	124.2%	松本城を中心としたまちづくりに向け、一体となったまちのにぎわい創出に向けた取組みや、都市機能の再配置や環境整備が必要。	都市政策課	8,850	4,023	12,873
3 市街地開発事業(施設管理事業 (水めぐりの井戸管理事業)) ・施設管理事業(仮称)大手門枳形広場) ・施設管理事業(中町蔵の会館、下町会館)	B	「城下町まつもと」にふさわ しいまちづくりが行われている (市民満足度)		(仮称)大手門枳形跡広場は暫定的な取扱いであり、条件が許せば早期の条例設置の必要がある。 中町蔵の会館、下町会館は利用料金による指定管理であり、市の財政負担は無い。今後も地元の積極的な運営を支援する。 井戸に関しては、今後も計画的な維持更新に努める。	都市政策課	4,426	5,526	9,952
4 単独歩いてみたい城下町整備事業 ・歩いてみたい城下町整備事業 ・整備路線(市道2542号線)	C	「城下町まつもと」にふさわ しいまちづくりがおこなわれて いる。(市民満足度)		拡幅を伴わない現況車道の幅員構成変更によって歩行空間を構築するが、現況幅員が狭い箇所は安全な歩行空間の幅員確保が出来ない場所がある。 幅員が狭い上、車道路肩に街灯、電柱等が設置されている箇所が点在し、安全確保が出来ない場所があるため、管理者と協議を実施し移設等の検討が必要。	都市政策課	9,665	7,659	17,324
5 松本城周辺整備事業(防災安全) ・内環状北線整備事業	A	事業の進捗率	100.0%	事業完了年度が平成31年度から平成34年度へ延長 防災拠点となる市役所、広域避難地である松本城公園への重要なアクセス道路となっていることから、歩行避難空間の確保、災害車両通行空間の確保が求められている。	城下町整備本部	100,332	16,047	116,379
6 単独松本城周辺整備事業 ・内環状北線整備事業 ・市道1057号線整備事業	A	事業の進捗率	100.0%	事業完了年度が平成31年度から平成34年度へ延長 防災拠点となる市役所、広域避難地である松本城公園への重要なアクセス道路となっていることから、歩行避難空間の確保、災害車両通行空間の確保が求められている。	城下町整備本部	194,349	15,758	210,107
7 国庫補助南・西外堀復元事業 ・松本城南・西外堀復元事業	A	事業の進捗率	100.0%	事業完了年度が平成33年度から平成36年度へ延長 南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。	城下町整備本部	133,434	15,758	149,192
8 単独南・西外堀復元事業 ・松本城南・西外堀復元事業	A	事業の進捗率	100.0%	事業完了年度が平成33年度から平成36年度へ延長 南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。	城下町整備本部	12,700	16,047	28,747
9 単独南・西外堀復元事業 ・松本城南・西外堀復元事業	A	事業の進捗率	100.0%	事業完了年度が平成33年度から平成36年度へ延長 南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。	松本城 管理事務所	17,826	2,277	20,103

事業名 主な事業	総合 評価	成果指標	達成度 (%)	現状に対する認識	担当課	事業費 (単位:千 円)	人件費 (単位:千 円)	コスト合計 + (単位:千 円)
10 単独南・西外堀復元事業 ・松本城南・西外堀復元事業	A	事業の進捗率	0.0%	平成33年度復元完了（最短事業計画であり、相手方との交渉等により数値が変動する場合がある。）	松本城 管理事務所	0	0	0
11 国庫補助南・西外堀復元事業 ・松本城南・西外堀復元事業	A	事業の進捗率	100.0%	事業完了年度が平成33年度から平成36年度へ延長 南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない、松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。	松本城 管理事務所	133,434	2,277	135,711
12 事務管理 ・松本城管理運営経 ・松本城発売業務	A	利用率及び利用者数	94.1%	市 営開智駐車場管理、各種保守点検等の締結を行い松本城全体の維持管理を実施した。 トリップアドバイザー（行ってよかった日本の城部門 第2位）	松本城 管理事務所	89,018	24,563	113,581
13 天守管理 ・天守誘導・案内業務委託	A	利用率及び利用者数	94.1%	多くの市民、観光客が訪れる国宝の天守としての美景を保つことができた。 天守内の各階に警備員を配置したことにより、観覧者の情報を無線により警備員全員が共有でき、きめ細やかなおもてなしが可能となった。 トリップアドバイザー（行ってよかった日本の城部門 第2位）	松本城 管理事務所	59,437	1,656	61,093
14 庭園・公園管理 ・松本城本丸庭園、松本城公園清掃業務委託 ・松本城本丸庭園、松本城公園冬囲い業務委託	A	利用率及び利用者数	94.1%	多くの市民、観光客が訪れる松本城本丸庭園、松本城公園の環境美化、景観の保持ができた。 トリップアドバイザー（行ってよかった日本の城部門 第2位）	松本城 管理事務所	24,756	1,656	26,412
15 観光宣伝 ・松本城を誘客のためのパンフレット等の作成、旅行会社等に配布 ・松本城おもてなし隊の活動	A	利用率及び利用者数	94.1%	松本城おもてなし隊、国宝松本城ホームページ等を運用することにより、松本城を基点とした回避性創出のきっかけに努めた。また、8月から天守入場までの待ち時間をリアルタイムでホームページに掲載している。 江戸時代の松本城内を3次元CGで制作し配信しているVR体験は好評で、大勢の観光客に楽しんでいただいている。 トリップアドバイザー（行ってよかった日本の城部門 第2位）	松本城 管理事務所	37,927	1,518	39,445
16 施設整備事業 ・天守他塗替え委託 ・松本城施設の修繕、営繕工事を実施	A	利用率及び利用者数	94.1%	松本城施設の保全を目的に、修繕、業務委託、営繕工事を実施した。 トリップアドバイザー（行ってよかった日本の城部門 第2位）	松本城 管理事務所	37,753	6,272	44,025
17 堀浄化対策事業 ・松本城史跡内堀等清掃業務委託 ・松本城堀浄化薬剤散布業務委託	A	利用率及び利用者数	94.1%	堀の清掃、適正な水質管理等により堀全体の維持管理ができた。 トリップアドバイザー（行ってよかった日本の城部門 第2位）	松本城 管理事務所	6,479	2,277	8,756
18 松本城学びと研究事業 ・松本城で学びの場の提供（勉強会、天守床磨き） ・展示品管理	A	国宝松本城天守床磨き 開催回数	100.0%	夏休み子ども勉強会、国宝松本城天守床磨きが予定どおり実施できた。 トリップアドバイザー（行ってよかった日本の城部門 第2位）	松本城 管理事務所	525	544	1,069
19 売店管理運営 ・売店の管理運営 ・商品販売業務、売上の集計、商品梱包	A	売店売上額	104.0%	販売商品の精査、支払方法（カード決済、電子マネー等）を検討していく。 トリップアドバイザー（行ってよかった日本の城部門 第2位）	松本城 管理事務所	100,780	4,559	105,339

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	松本城世界遺産推進事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	松本城を世界遺産へ運動の推進
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城世界遺産推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	13~32
--------	-------

国宝松本城を保護・保存し、次世代へ継承するために、松本城の世界文化遺産登録を目指す過程で、登録の前提となる国内の「世界文化遺産暫定一覧表」記載に必要な調査研究及び市民への普及啓発を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本城世界遺産調査研究事業
 - 文化庁の審議結果に対する課題を解決するための調査研究事業
 - 姫路城を含む国宝5城等による「近世城郭の天守群」の、シリアル・ノミネーション(連続する資産)での登録へ向けた関係市等との連携推進
- 松本城世界遺産普及啓発事業
 - 「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会における、市民と行政等の協働による普及啓発事業を実施し、世界遺産へ向けた現状や取組み等について、市民へ広く周知

<現状に対する認識>

平成18年及び19年の文化庁による世界文化遺産暫定一覧表記載資産候補の公募から10年が経過するなかで、今後数年以内の再公募を見据えて準備を進める。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	世界遺産推進事業に参加した人数の割合				
指標の設定理由	世界遺産登録への事業に参加した人数で市民への広がり把握するため				
目標値	2.0%	5.0%	15.0%	30.0%	50.0%
実績値	1.3%	9.5%			
達成度	63.5%	189.8%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	10,870		13,280							
国・県										
利用者負担金										
その他	10,870		13,280							
一般財源										
人件費(千円)	9,997	人工	15,180	人工		人工		人工		人工
正規	9,997	1.3	15,180	2.0						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	20,867		28,460							
前年度比	-		136.4%							

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	観光宣伝
< 予算上の位置付け >	
会計名	松本城特別会計
予算中事業名	観光宣伝費

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
松本城誘客用のパンフレット等の作成、松本城おもてなし隊の活動、国宝松本城ホームページの運用により観光客の増加に努める。		

- < 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
- 1 松本城を誘客のためのパンフレット等の作成し、旅行会社等に配布
 - 2 松本城おもてなし隊の活動
 - 3 国宝松本城ホームページの運用・保守
 - 4 松本城公園イルミネーション
 - 5 松本城VR映像制作配信

< 現状に対する認識 >

松本城おもてなし隊、国宝松本城ホームページ等を運用することにより、松本城を基点とした回遊性創出のきっかけに努めた。また、8月から天守入場までの待ち時間をリアルタイムでホームページに掲載している。
江戸時代の松本城内を3次元CGで制作し配信しているVR体験は好評で、大勢の観光客に楽しんでいただいている。 トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	968,000	968,000
実績値	990,361	912,587			
達成度	110.0%	94.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分					
事業費(千円)	19,899	37,927			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)	19,899	37,927			
人件費(千円)	1,538	1,518			
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	
嘱託	0	0	0		
合計コスト +	21,437	39,445			
前年度比	-	184.0%			